

バスケットボール
真の日本一が決まる運命の七日間。

新



天皇杯

EMPEROR'S CUP BASKETBALL 2025-26
FINAL ROUND

2026.1.6 tue - 1.12 mon

国立代々木競技場第一体育館・第二体育館

皇后杯



EMPRESS'S CUP BASKETBALL 2025-26
FINAL ROUND

2026.1.5 mon - 1.11 sun

国立代々木競技場第一体育館・第二体育館・駒沢体育館

OFFICIAL PROGRAM

■主催 / 主管: 公益財団法人日本バスケットボール協会 ■共催: 共同通信社

協賛



街の真ん中にスポーツがある。

スポーツが街を動かす

エネルギーになっている。

ここは LaLa arena TOKYO-BAY。スポーツの大会やライブイベントが行われる大型アリーナです。なぜ街の真ん中にアリーナが？それは三井不動産が街づくりにスポーツの力を活かしているから。スポーツの楽しさや感動をもっと日常的に味わってもらいたい。そして、スポーツをする人、観る人、応援する人のつながりを生み出して街をもっと盛り上げていきたい。スポーツのワクワクを街のエネルギーに変えているんです。スポーツで街が一つになるなんて、ちょっと素敵じゃないですか？



さあ、街から未来をかえよう

**BE THE
CHANGE**


三井不動産
MITSUI FUDOSAN


AKATSUKI
JAPAN

JBAオフィシャル街づくりパートナー



公益財団法人日本バスケットボール協会

会 長

島田 慎二

2026年の新春を迎え、全国のバスケットボールファミリーの皆様、明けましておめでとうございます。

このたび、「第92回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会 ファイナルラウンド」を1月5日(月)～11日(日)の期間、国立代々木競技場第一体育館・第二体育館、ならびに駒沢体育館において盛大に開催できますことを大変うれしく思います。

皇后杯の名を冠し、日本最高権威の大会として親しまれてきた本大会は、今大会より大会方式を一部変更しました。ファイナルラウンドでは、都道府県およびブロックラウンドを勝ち抜いた各地区の代表に加え、Wリーグや社会人連盟、全日本大学連盟からそれぞれ推薦された精鋭、計24チームが日本一の座をかけてしのぎを削ります。

それぞれのチームの名誉をかけた、またベテランから若手までのすべての選手がその実力をぶつけ合う、ファンの皆様が一瞬たりとも目を離せなくなるような熱く魅力的な戦いを期待しています。ファンの皆様におかれましては、会場で直接、あるいはテレビやインターネット配信を通じて、熱戦の数々を存分にお楽しみください。

当協会は「バスケで日本を元気に」を理念に掲げ、それぞれのバスケットボールとの関わりを起点に、仲間や地域の皆様とともに目指す未来に向けた取り組みを行っていきたいと考えています。年齢や性別、カテゴリー等の垣根を越えてバスケットボールファミリーが一丸となり、一人ひとりの力を“ONE Basketball”の大きな想いへとつなげ、ともに未来を切り拓いていきましょう。

大会後にはWリーグのシーズンが佳境に向かいます。また女子日本代表チームは、2026年にドイツで開催予定のFIBA 女子バスケットボール ワールドカップ2026への出場権をかけ、3月にその予選トーナメントに向かいます。より多くの皆様に選手やチームを応援していただき、日本のバスケットボール界がもっともっと盛り上がっていくことを願っています。

結びに、今大会の開催にあたりご尽力いただきます方々、またこれまでの歴史のなかで本大会に関わってくださったすべての皆様方に敬意を表しますとともに、今大会の成功を祈念して、ごあいさつといたします。



molten[®]
feel the emotion

スポーツの報酬は感情だ。
動き出せ。つながり続けよう。感情に向き合え。

◎ 全日本選手権大会について ◎

1900年前後、日本にバスケットボールがアメリカより伝えられて以来、YMCAを中心に日本全国で試合が行われるようになった。その結果、1921(大正10)年11月、大日本体育協会(現・日本スポーツ協会)により全日本選手権大会が主催され、東京大学農学部駒場グラウンドで2日間にわたり、記念すべき第1回の大会が開催された。その後、大日本バスケットボール協会(現・日本バスケットボール協会)が1930(昭和5)年に発足。1931(昭和6)年の第10回大会からは日本バスケットボール協会主催となり、女子の日本選手権も併せて開催し、現在に至る。

初回大会こそ各地のYMCAが参加チームだった本大会だが、第2回大会以降はジュニア部門も併せて行い、旧制中学、大学チームも参加。各ブロックの代表も参加し、第二次世界大戦後は実業団チームも台頭。大会名称も1947(昭和22)年から全日本総合選手権大会に改めた。以後、トップリーグやクラブなどの社会人チームが参加し、日本最強のチームを決定する大会となった。

そして2017(平成29)年、「全日本バスケットボール選手権大会」と大会名称を改めるとともに、大会方式を変更。スポーツ文化としてのバスケットボールの価値向上、そして日本バスケットボール界の最高権威である「天皇杯・皇后杯」の大会価値向上を目的とし、都道府県レベルからの一貫したトーナメント制が実現し、名実ともに「真の日本一」を争う大会として生まれ変わった。

◎ 天皇杯・皇后杯とは ◎

天皇杯は、国民によく普及しているスポーツの全国大会に対し、スポーツの振興のために宮内庁より下賜され、皇后杯も同条件を満たし、なおかつ参加者が女性の場合に限り下賜されるもの。

本大会に天皇杯・皇后杯が下賜されたのは1948(昭和23)年のことだった。

戦前から毎年開催されていた全日本選手権大会も、第二次世界大戦のあおりを受けて1942(昭和17)年より、1943(昭和18)年の男子第21回・女子第12回大会を除き、1946(昭和21)年までは開催中止となった。

しかし、戦後間もない1947(昭和22)年、バスケットボールを通じて社会復興に貢献し、やがては国際社会に復帰することと、さらなるバスケットボールの国内の拡充を目標に掲げ、本大会は全日本総合選手権大会として復活開催を果たした。その志のシンボルとして天皇・皇后両杯を切望した結果、1948(昭和23)年に両杯が日本バスケットボール協会に下賜され、同年に開催された男子第24回・女子第15回全日本総合選手権大会以降、大会の優勝チームに授与されることとなった。

なお、天皇杯・皇后杯はスポーツ団体としては2025(令和7)年12月末現在で26団体に下賜されており、そのうち日本スポーツ協会、日本サッカー協会など13団体が両杯を下賜されている。また、2018(平成30)年には、日本車いすバスケットボール連盟にも両杯が下賜された。

バスケットボールは単独競技として最初に天皇杯、皇后杯をそろって下賜された団体であり、それゆえに本大会は真の日本一を競い合う、非常に由緒ある大会となっている。



天皇杯

皇后杯

三井住友信託銀行は、
バスケットボール日本代表を応援しています。



**AKATSUKI
JAPAN**



©シンジル & タクセル



©日本バスケットボール協会

皇后杯 PREVIEW

EMPRESS'S CUP BASKETBALL 2025-26

今大会は24チームによるファイナルラウンドに 富士通の連覇か、他チームが阻止するか

4チームによるファイナルラウンドという新レギュレーションで開催される「第92回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会」。連覇を狙う前回女王・富士通レッドウェーブを中心に、Wリーグ首位のトヨタ自動車 アンテロープス、虎視眈々と王座奪還を狙うデンソー アイリス、ENEOSサンフラワーズら実力派チームが名を連ねる。さらに大学、社会人、地方ブロックの代表がカテゴリーを超えて激突する。一発勝負のトーナメントを勝ち抜き、皇后杯を手にするのはどのチームになるだろうか。

連覇を目指す前回女王の富士通をはじめ デンソーやアイシンら実力派がそろ

レギュレーションが改編となり、24チームでファイナルラウンドを戦うこととなった「第92回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会」。Wリーグや大学、高校、社会人などカテゴリーの異なるチームが東京に集い日本一を争う。

大会を占う上で中心となるのはやはりWリーグのチームだろう。今大会は10チームが出場する。

前回大会では下馬評を覆して準優勝に輝いたアイシン ウィングスは左上ブロックに。前回の銀メダル獲得に貢献した渡嘉敷来夢は元気な姿を見せており、岡本彩也花や野口さくらの活躍も見込まれる。Wリーグでは白星に恵まれていないが、シーズン途中からヘッドコーチに就任したBTテープス氏(元富士通ヘッドコ



町田瑠唯 (富士通)



高田真希 (デンソー)

ーチ)の下、一戦必勝で頂点を目指す。

左上ブロックにはデンソーアイリスも属している。デンソーは、高田真希、赤穂ひまわり、川井麻衣ら経験豊富な選手たちに加え、今野紀花や数末奈海と、着実にレベルアップした姿を見せている選手たちの出来もカギを握る。インサイドとアウトサイドともに分厚い選手層が特長で、安定した強さを発揮すれば2年ぶりの優勝も見えてくる。

このブロックには、九州ブロックを勝ち抜いた福岡大学附属若葉高校や大学界トップの東京医療保健大学があり、中でも東京医療保健大学は社会人やWリーグチーム相手にどのような戦いを見せるか興味が尽きない。

左下のブロックには優勝候補筆頭に挙げられる富士通レッドウェーブが構える。町田瑠唯、宮澤夕貴らを起点に林咲希、赤木里帆、ジョシュア ンフォンノボン テミトペ、宮下希保と役割をし



白崎みなみ
(シャンソン化粧品)



宮崎早織 (ENEOS)



山本麻衣
(トヨタ自動車)

っかりと果たす選手たちが多く、4シーズンぶりの復帰となった前澤滯もブランクを感じさせない動きでチームを引っ張っている。藤本愛妃、内尾聡菜の復帰も大きく、連覇に向けて視界は良好だ。

その富士通への挑戦権を得るのは福井工業大学附属福井高校と白鷗大学との勝者。白鷗大学は実績も十分で手強い存在となる。

1回戦から登場するのは東京羽田ヴィッキーズだ。栗林未和の高さや本橋菜子のうまさを持ち味で、安定感を増した岡田真那美らを中心に初戦突破、そして2回戦で対戦するトヨタ紡織 サンシ

ヤインラビッツに食らいつきたいところ。逆にトヨタ紡織は互いに勝ち上がれば準々決勝で富士通との対戦となるため、東藤なな子を筆頭にチームのケミストリーをより高めて大会に臨みたい。Wリーグでの勢いを加味すると、今大会の最も怖いダークホースと言えるだろう。

**Wリーグプレミア首位のトヨタ自動車が一歩リード？
フューチャーの三菱電機、日立ハイテクも不気味な存在**

右上ブロックはWリーグレギュラーシーズン前半戦を終えて



東藤なな子 (トヨタ紡織)



渡嘉敷来夢 (アイシン)



中野由希
(日立ハイテク)



岡田真那美 (東京羽田)



澤 知央 (三菱電機)



大脇 晴 (東京医療保健大学)

首位のトヨタ自動車 アンテロースとシャンソン化粧品 シャンソンVマジックを中心に展開されそうだ。ともに2回戦からの出場で、トヨタ自動車は山梨学院大学と笠戸ブレブスターの勝者と、シャンソンは四日市メリノール学院高校と山形銀行の勝者と対戦する。勝ち上がれば準々決勝でまみえることとなるが、トヨタ自動車はオコクウォ スーザン アマカ、シャンソンはンウォコ マーベラス アダク ビクターと、どちらも大黒柱のセンターを擁している。アウトサイドではトヨタ自動車は安間志織と山本麻衣、シャンソンは白崎みなみに峰晴寿音と得点力の高いガード陣がいることも共通だ。Wリーグの直接対決ではトヨタ自動車が2勝しているが、一発勝負の皇后杯では予想は不能といってい

いだろう。右下ブロックには3大会ぶりの優勝を狙うENEOSサンフラワーズがあり、初戦となる2回戦は三菱電機 コアラーズと秋田銀行の勝者と対戦する。

ENEOSは、チーム在籍12年目の宮崎早織を筆頭に新加入の馬瓜エブリンやプレッチェル レイン アシュテンらがポイントゲッターで、高さを生かした梅沢カディシャ樹奈、アウトサイドシュートが得意の星杏璃など戦力はそろっている。

そのENEOSに対抗するのは三菱電機か。得点源のサイーシャ・ゴリーを主体に一矢報いたいところだ。

また、このブロックには日立ハイテク クーガーズも打倒ENEOSをもくろんでいる。まずは初戦となる2回戦に勝ち、ENEOS戦に全力を注ぎたい。日立ハイテクは、インサイドとアウトサイドとがバランス良く得点できるメンバー構成のため、相手にとって厄介なチームでもある。

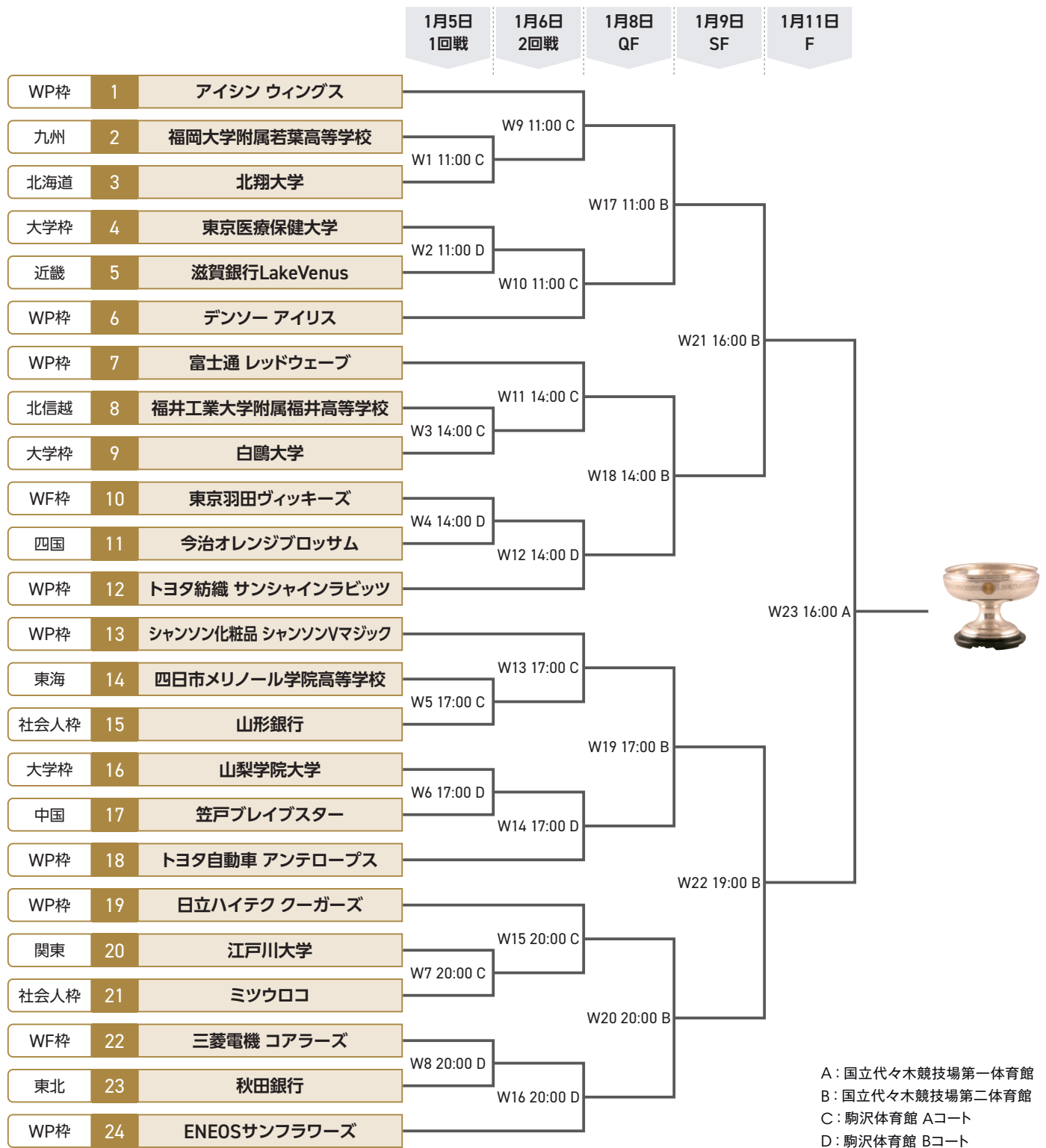
Wリーグでの戦いが戦況を占う上での一つの指針にはなるが、これまでも幾度となく番狂わせがあった皇后杯だけに、今大会も決勝までの争いは一戦たりとも目が離せない展開となるだろう。

第92回 皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会 ファイナルラウンド出場チーム

トップリーグ 推薦枠	Wプレミア1位	富士通 レッドウェーブ
	Wプレミア2位	デンソー アイリス
	Wプレミア3位	シャンソン化粧品 シャンソンVマジック
	Wプレミア4位	ENEOS サンフラワーズ
	Wプレミア5位	トヨタ自動車 アンテロース
	Wプレミア6位	トヨタ紡織 サンシャインラビッツ
	Wプレミア7位	アイシン ウィングス
	Wプレミア8位	日立ハイテク クーガーズ
Wフューチャー1位	東京羽田ヴィッキーズ	
	Wフューチャー2位 三菱電機 コアラーズ	
社会人 推薦枠	1位	ミツウロコ
	2位	山形銀行
大学 推薦枠	1位	東京医療保健大学
	2位	白鷗大学
	3位	山梨学院大学
ブロック 代表枠	北海道	北翔大学
	東北	秋田銀行
	関東	江戸川大学
	北信越	福井工業大学附属福井高等学校
	東海	四日市メリノール学院高等学校
	近畿	滋賀銀行LakeVenus
	中国	笠戸ブレブスター
	四国	今治オレンジブロッサム
	九州	福岡大学附属若葉高等学校

●トップリーグ推薦枠…前シーズンの成績を基にWプレミアに8枠、Wフューチャーに2枠
●社会人推薦枠…前シーズンの高松宮記念杯 全日本社会人バスケットボールプレミアリーグチャンピオンシップ優勝・準優勝チームに1枠ずつ
●大学推薦枠…前年度の全日本大学バスケットボール選手権大会(インカレ)優勝チームが所属する地区の、当該年度の選手権大会(春季大会)上位3チームに1枠ずつ
●ブロック代表枠…原則、当該年度の11月までにブロックラウンド(9ブロック)を開催し、各ブロックに1枠ずつ

FINAL ROUND



■ 皇后杯ファイナルラウンド テレビ放送・インターネット動画配信予定

○放送予定

2026年1月9日(金) 準決勝 1試合目
NHK BS 16:00～ 生中継
2026年1月9日(金) 準決勝 2試合目
NHK BS 23:45～ 録画中継

2026年1月11日(日)
NHK Eテレ 16:00～ 生中継
※NHK ONEでも同時・見逃し配信



○配信予定

バスケットLIVE
ファイナルラウンド全試合
ライブ配信(見逃し配信あり)





アイシン ウィングス

Wプレミア7位

皇后杯最高成績

準優勝
(2024年度)

トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

前回大会で準優勝に輝いたアイシン ウィングス。その原動力となった渡嘉敷来夢や岡本彩也花、野口さくらは今年も健在で、特に渡嘉敷は今シーズンWリーグの得点ランキング1位につけ、自らの得点でチームをけん引している。渡嘉敷に次いで得点を挙げているキャプテンの岡本やスピード抜群の平末明日香、今シーズン加入した高橋未来も活力を与える存在。11月には今シーズンよりディレクターとして加入していたBTテプス氏がヘッドコーチに就任。前回の皇后杯では富士通の指揮官として優勝を飾ったテプスHCの手腕にも期待がかかる。Wリーグでは黒星が先行しているものの、一発勝負の皇后杯でチャンスをつかむ可能性は大いにある。

1 C 渡嘉敷 来夢 トカシキ ラム 身長 193 cm 生年月日 1991/6/11 出身校 桜花学園高等学校	2 SG 岡本 彩也花 オカモト サヤカ 身長 161 cm 生年月日 1991/4/19 出身校 桜花学園高等学校	3 PF アミラ ジャネイ コリンズ 身長 190 cm 生年月日 2000/4/3 出身校 ノースカロライナ州立大学	5 SG 坂本 雅 サカモト ミヤビ 身長 170 cm 生年月日 2000/4/8 出身校 愛知学泉大学
7 PF ナヤ ベッカー 身長 188 cm 生年月日 2000/10/14 出身校 ウェイクフォレスト大学	9 PG 高橋 未来 タカハシ ミク 身長 169 cm 生年月日 2001/4/30 出身校 京都精華学園高等学校	10 SF 野口 さくら ノグチ サクラ 身長 182 cm 生年月日 2001/2/24 出身校 安城学園高等学校	13 SG 平末 明日香 ヒラスエ アスカ 身長 164 cm 生年月日 1998/3/5 出身校 東京医療保健大学
14 SF 近藤 京 コンドウ ミヤコ 身長 171 cm 生年月日 2003/5/24 出身校 安城学園高等学校	18 PG 木下 菜月 キノシタ ナツキ 身長 164 cm 生年月日 2002/10/16 出身校 日本経済大学	20 PF 山口 奈々花 ヤマグチ ナナカ 身長 182 cm 生年月日 2001/7/22 出身校 鵬学園高等学校	22 PF 齋藤 利恵 サイトウ リエ 身長 176 cm 生年月日 2002/5/22 出身校 愛知学泉大学
25 PG 坂本 美樹 サカモト ミキ 身長 162 cm 生年月日 1994/12/26 出身校 立命館大学	33 C 大館 真央 オオダテ マオ 身長 186 cm 生年月日 2001/9/11 出身校 東海大学九州		

STAFF

HEAD COACH 	ヘッドコーチ BTテプス	ビデオコーディネーター 君塚 祐美 キミツカ ユミ	トレーナー 上田 智子 ウエダ トモコ
アシスタントコーチ 藤丸 勇海 フジマル イサミ	アシスタントコーチ 梅寄 勝英 ウメザキ ショウエイ	マネージャー 大館 佳央 オオダテ カオ	マネージャー 河村 理佳 カワムラ リカ
アシスタントコーチ兼通訳 島田 裕文 シマダ ヒロフミ	トレーナー 畔上 みか アゼガミ ミカ		

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



福岡大学附属若葉高等学校

九州ブロック代表

皇后杯最高成績
ファイナルラウンド
初出場

ブロック代表枠

セカンドラウンド結果(ベスト4以上)

福岡1位	日本経済大学	76	
熊本1位	鶴屋百貨店	79	
鹿児島1位	鹿屋体育大学	78	
福岡2位	福岡大学附属若葉高等学校	80	
		77	
		79	

インターハイ、ウィンターカップとベスト8進出がこれまでの最高成績。今年度はU18カテゴリーでの全国大会出場は果たせなかったものの、皇后杯セカンドラウンド九州ブロックでは鹿屋体育大学、鶴屋百貨店など上位カテゴリーのチームを退けファイナルラウンド初進出を遂げた。トランジションの速いスタイルで初戦突破を狙う。

4 SF

太田 妃優

オオタ ヒロ

身長 171 cm

生年月日 2007/10/3

出身校 四日市メリノール学院中学校



5 PF

猿木 心和

サルキ コヨリ

身長 173 cm

生年月日 2007/8/4

出身校 菊陵中学校



6 PG

高木 楓夏

タカギ フウカ

身長 160 cm

生年月日 2007/6/30

出身校 日章学園中学校



7 SG

小坂 瑞希

コサカ ミズキ

身長 160 cm

生年月日 2007/10/30

出身校 長崎純心中学校



8 PF

小川 星奈

オガワ セナ

身長 171 cm

生年月日 2008/7/17

出身校 判田中学校



9 PG


内野 由愛

ウチノ ユラ

身長 167 cm

生年月日 2009/7/22

出身校 荒尾海陽中学校



10 SG

小宮 愛結

コミヤ アユ

身長 160 cm

生年月日 2009/9/6

出身校 菊陵中学校



11 SG

渡邊 利恵菜

ワタナベリエナ

身長 163 cm

生年月日 2008/8/10

出身校 那珂川北中学校



12 SF

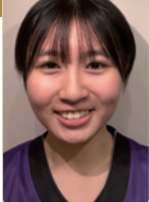
柏田 好海

カシワダ コノミ

身長 165 cm

生年月日 2009/7/19

出身校 碩田学園中学校



13 SF

大石 雅巳

オオishi マキ

身長 165 cm

生年月日 2009/9/10

出身校 山里中学校



14 C

田上 杏

タガミ アン

身長 173 cm

生年月日 2008/11/20

出身校 京陵中学校



15 C

鈴木 瑚香南

スズキ ココナ

身長 177 cm

生年月日 2007/7/11

出身校 四日市メリノール学院中学校



16 SF

佐藤 光

サトウ アリ

身長 168 cm

生年月日 2008/6/7

出身校 板付中学校



17 SF


野元 香南子

ノモト カナコ

身長 167 cm

生年月日 2008/5/27

出身校 花陵中学校



18 PF

坂井 美月

サカイ ミツキ

身長 170 cm

生年月日 2009/9/2

出身校 那珂川南中学校



STAFF



HEAD COACH

ヘッドコーチ

池田 憲二

イケダ ケンジ

トレーナー

坂井 哲平

サカイ テツペイ

コーチ

池下 陽菜

イケシタ ハルナ

マネージャー

山下 友梨恵

ヤマシタ ユリエ

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



北翔大学

皇后杯最高成績
ファイナルラウンド
出場



ブロック代表枠

セカンドラウンド結果(ベスト4以上)

日本航空高等学校北海道	87	
星槎道都大学	62	
札幌大学	81	
北翔大学	57	
北翔大学	58	
北翔大学	67	

※勝利チーム辞退のため繰り上げ

2015年度には北海道総合選手権を制し、皇后杯ファイナルラウンドに出場。今年度は北海道総合選手権決勝で敗れたものの、優勝した日本航空高等学校北海道の辞退により10年ぶりのファイナルラウンド出場権を得た。粘り強いディフェンスから速い展開に持ち込み、一つでも多く勝ち星を積み上げたい。

3 PG 草薙 こまち クサナギ コマチ 身長 156 cm 生年月日 2006/9/9 出身校 県立湯沢翔北高等学校	5 SG 河治 穂香 カワジ ホノカ 身長 154 cm 生年月日 2007/2/7 出身校 旭川龍谷高等学校	6 PG 佐藤 留衣 サトウ ルイ 身長 154 cm 生年月日 2006/7/14 出身校 北見柏陽高等学校	10 SF 高橋 瑠羽 タカハシ ルウ 身長 170 cm 生年月日 2005/3/11 出身校 県立湯沢翔北高等学校
11 C 倉田 夏 クラタ ナツ 身長 175 cm 生年月日 2004/7/29 出身校 酪農学園大学附属 どの森三愛高等学校	13 SF 野呂田 凧 ノロタ ナグ 身長 168 cm 生年月日 2006/6/17 出身校 県立秋田中央高等学校	15 SF 大沼 華楓 オオヌマ カエデ 身長 174 cm 生年月日 2005/2/14 出身校 県立湯沢翔北高等学校	17 SG 目黒 結子 メグロ ユイコ 身長 159 cm 生年月日 2006/6/14 出身校 県立秋田中央高等学校
23 PG 三浦 華心 ミウラ カコ 身長 160 cm 生年月日 2006/2/22 出身校 県立秋田中央高等学校	25 SG 高山 陽菜 タカヤマ ヒナ 身長 162 cm 生年月日 2005/5/23 出身校 苫小牧総合 経済高等学校	28 SG 飯田 咲礼 イイダ サクラ 身長 153 cm 生年月日 2006/6/14 出身校 酪農学園大学附属 どの森三愛高等学校	30 PG 岩佐 紗奈 イワサ サナ 身長 163 cm 生年月日 2004/4/21 出身校 酪農学園大学附属 どの森三愛高等学校
32 PG 原田 葵 ハラダ アオイ 身長 163 cm 生年月日 2006/8/23 出身校 北星学園女子高等学校	33 SG 舟木 佑樹乃 フナキ ユキノ 身長 168 cm 生年月日 2007/1/12 出身校 酪農学園大学附属 どの森三愛高等学校	73 SF 田口 青遠 タグチ ハル 身長 166 cm 生年月日 2005/10/12 出身校 県立湯沢翔北高等学校	88 PF 坂本 萌依 サカモト メイ 身長 170 cm 生年月日 2005/12/17 出身校 県立湯沢翔北高等学校

STAFF

HEAD COACH 	顧問/ヘッドコーチ 横山 茜理 ヨコヤマ アカリ	トレーナー 吉田 真 ヨシダ マコト	学生スタッフ 芹野 想 セリノ ココロ
ファーストアシスタントコーチ 松川 理子 マツカワ リコ	アシスタントトレーナー 石川 凌 イシカワ リョウ	学生スタッフ 前田 恵里 マエダ エリ	
トレーナー 吉田 昌弘 ヨシダ マサヒロ	マネージャー 塚原 詩乃 ツカハラ シノ		

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



東京医療保健大学

大学1位

皇后杯最高成績

ベスト8
(2022年度)



大学推薦枠

2025年度関東大学女子選手権結果(ベスト4以上)

白鷗大学	94	73	東京医療保健大学
筑波大学	63	99	
山梨学院大学	55	72	
東京医療保健大学	55	72	3位決定戦
山梨学院大学	85	62	
筑波大学	62		

今年度は春の関東選手権で3年ぶりの優勝を果たすと、秋の関東リーグ、そしてインカレも制し、大学女王の座に返り咲いた。皇后杯では2022年度に予選でVリーグ勢を破って決勝トーナメントに出場。1回戦で富士通と大接戦を演じた。今大会では鍛え上げたフィジカル、どこからでも点の取れるオフェンス力で優勝を目指す。

0 C ロー・ジョバ <small>身長 187cm</small> <small>生年月日 2006/7/3</small> <small>出身校 慶誠高等学校</small>		2 SG 長谷川 蛍 <small>ハセガワ ホテル</small> <small>身長 165cm</small> <small>生年月日 2004/8/20</small> <small>出身校 明秀学園日立高等学校</small>		4 SG 戸塚 妃莉 <small>トツカ ヒマリ</small> <small>身長 172cm</small> <small>生年月日 2006/5/9</small> <small>出身校 市立前橋高等学校</small>		5 PG 紮野 夏海 <small>カセノ ナツミ</small> <small>身長 173cm</small> <small>生年月日 2005/5/20</small> <small>出身校 岐阜女子高等学校</small>	
6 C ジュフ・ハディジャトゥ <small>身長 187cm</small> <small>生年月日 2004/8/29</small> <small>出身校 岐阜女子高等学校</small>		7 SF 後藤 音羽 <small>ゴトウ オトハ</small> <small>身長 179cm</small> <small>生年月日 2007/2/13</small> <small>出身校 浜松開誠館高等学校</small>		8 SG 土家 梨愛 <small>ツチヤ リナ</small> <small>身長 174cm</small> <small>生年月日 2004/9/17</small> <small>出身校 倉敷翠松高等学校</small>		14 PG 前田 珠涼 <small>マエダ ミスズ</small> <small>身長 165cm</small> <small>生年月日 2006/5/29</small> <small>出身校 昭和学院高等学校</small>	
15 PF 柴田 緑 <small>シバタ ミドリ</small> <small>身長 175cm</small> <small>生年月日 2005/8/15</small> <small>出身校 岐阜女子高等学校</small>		17 SF 門脇 瑚羽 <small>カドワキ コハネ</small> <small>身長 176cm</small> <small>生年月日 2005/1/7</small> <small>出身校 北越高等学校</small>		24 SF 加藤 愛香 <small>カトウ アイカ</small> <small>身長 173cm</small> <small>生年月日 2003/7/22</small> <small>出身校 福岡大学附属若葉高等学校</small>		34 PF メンディー シアラ <small>身長 182cm</small> <small>生年月日 2006/11/17</small> <small>出身校 千葉経済大学附属高等学校</small>	
44 PG 清水 紫音 <small>シミズ シオン</small> <small>身長 167cm</small> <small>生年月日 2003/8/9</small> <small>出身校 岐阜女子高等学校</small>		61 PF 深津 唯生 <small>フカツ ユイナ</small> <small>身長 180cm</small> <small>生年月日 2006/5/25</small> <small>出身校 桜花学園高等学校</small>		76 SG 渡部 結 <small>ワタナベ ユイ</small> <small>身長 170cm</small> <small>生年月日 2005/7/21</small> <small>出身校 昭和学院高等学校</small>		91 PF 大脇 晴 <small>オオワキ ハル</small> <small>身長 178cm</small> <small>生年月日 2004/3/4</small> <small>出身校 慶進高等学校</small>	

STAFF

HEAD COACH



監督

恩塚 亨 オンヅカ トオル

トレーナー

宮下 薫子 ミヤシタ カオルコ

学生スタッフ

岩井 来夢 イワイ クルミ

アシスタントコーチ

伊藤 彰浩 イトウ アキヒロ

学生スタッフ

菊谷 友希乃 キクタニ ユキノ

学生スタッフ

若月 美陽 ワカツキ ミハル

アシスタントコーチ

佐藤 悠成 サトウ ユウセイ

学生スタッフ

高橋 茉鈴 タカハシ マリン

学生スタッフ

柴草 榛 シバクサ ハル

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



滋賀銀行LakeVenus

近畿ブロック代表

皇后杯最高成績
ファイナルラウンド
出場



ブロック代表枠

セカンドラウンド結果(ベスト4以上)

大阪1位	大阪人間科学大学	65	
和歌山	紀陽銀行ハートビーツ	70	
滋賀	滋賀銀行LakeVenus	57	滋賀銀行LakeVenus
大阪2位	大阪体育大学	67	42

「スポーツを通じて地域社会に貢献する」ことをスローガンに1976年に創部。現在は社会人トップカテゴリーのSB1リーグに参戦し、昨年度は準優勝を遂げるなど、近畿ブロックを代表する社会人チーム。プレッシャーの強いディフェンスを武器に、一戦一戦全力で戦い勝利を目指す。

4 SG

緒方 偲乃

オガタ シノ

身長 168cm

生年月日 2003/3/6

出身校 江戸川大学



5 C

高木 愛華

タカキ マナカ

身長 176cm

生年月日 2003/3/7

出身校 白鷗大学



7 PF

大橋 璃菜

オオハシ リナ

身長 174cm

生年月日 1997/11/27

出身校 名古屋経済大学



8 PG

井上 ひかる

イノウエ ヒカル

身長 158cm

生年月日 2002/4/22

出身校 園田学園大学



9 SG

藤田 夏生

フジタ ナツキ

身長 166cm

生年月日 1998/7/16

出身校 武庫川女子大学



10 PF

前田 芽生

マエダ メウ

身長 175cm

生年月日 1999/8/15

出身校 名古屋学院大学



11 SF

大橋 瑠菜

オオハシ ルナ

身長 173cm

生年月日 1997/11/27

出身校 名古屋経済大学



13 SF

山岡 まつり

ヤマオカ マツリ

身長 171cm

生年月日 1999/7/28

出身校 武庫川女子大学



14 SG

杉 咲里奈

スギ サリナ

身長 170cm

生年月日 1999/5/30

出身校 日本経済大学



15 PG

岡田 咲恵

オカダ サエ

身長 158cm

生年月日 1997/12/12

出身校 日本経済大学



17 PG

石垣 優衣

イシガキ ユイ

身長 162cm

生年月日 2001/3/2

出身校 日本女子体育大学



99 PF

兼岩 彩生

カネイワ アヤナ

身長 175cm

生年月日 2000/9/21

出身校 愛知学泉大学



STAFF



HEAD COACH

部長

山本 茂喜 ヤマモト シゲキ

副部長

寺村 和彦 テラムラ カズヒコ

ヘッドコーチ

藤堂 悠 トウドウ ユタカ

ファーストアシスタントコーチ

村田 健一 ムラタ ケンイチ

アシスタントコーチ

石黒 加奈 イシクロ カナ

アシスタントコーチ

宮崎 寧子 ミヤザキ ネネ

マネージャー

富永 美月 トミナガ ミツキ

マネージャー

小林 智香 コバヤシ チカ

トレーナー

林中 和也 ハヤシナカ カズヤ

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



デンソー アイリス

Wプレミア2位

皇后杯最高成績

優勝(2023年度)



トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

東京オリンピック銀メダリストの高田真希に赤穂ひまわりと日本を代表するトップ選手に加え、FIBA女子アジアカップ2025(2024年7月)の日本代表に名を連ねた川井麻衣や今野紀花、数未奈海ら成長著しい選手たちが顔をそろえるデンソー アイリス。インサイドには新加入のアニマム ジャックダニエル(190cm)、シラソハナ ファーター ジャ(188cm)とビッグセンターがおり、メンバーの平均身長はWリーグの中でENEOSに次いで2番目に高い。ガード陣に目を向けても、パスと得点力を兼ね備える木村亜美や4シーズンぶりに古巣に戻ってきたシューティングガードの笠置晴菜、勝負強いシュートが持ち味の梅木千夏と層は厚い。群を抜く総合力で目指すは2023年大会以来の日本一だ。

3 SG

平賀 真帆

ヒラカ マホ

身長 172cm

生年月日 2004/11/27

出身校 桜花学園高等学校



4 PG

川井 麻衣

カワイ マイ

身長 172cm

生年月日 1996/4/11

出身校 東京成徳大学高等学校



8 C

高田 真希

タカダ マキ

身長 185cm

生年月日 1989/8/23

出身校 桜花学園高等学校



10 C

アニマム
ジャックダニエル

身長 190cm

生年月日 1998/11/27

出身校 世新大学



11 SG

梅木 千夏

ウメキ チナツ

身長 168cm

生年月日 2000/8/12

出身校 聖カタリナ学園高等学校



13 PG

木村 亜美

キムラ アミ

身長 165cm

生年月日 1999/9/18

出身校 東京医療保健大学



18 SF

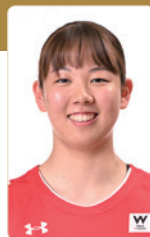
数 未奈海

ヤブ ミナミ

身長 178cm

生年月日 2004/10/2

出身校 八雲学園高等学校



21 SG

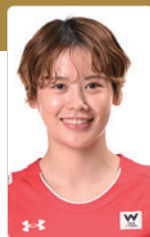
笠置 晴菜

カサギ ハルナ

身長 167cm

生年月日 1999/2/21

出身校 昭和学院高等学校



23 SG

篠原 華実

シノハラ ハナミ

身長 172cm

生年月日 1996/8/9

出身校 聖カタリナ学園高等学校



28 C

シラソハナ
ファーター ジャ

身長 188cm

生年月日 1997/6/4

出身校 白鷗大学



30 SF

白石 弥桜

シライシ ミオ

身長 184cm

生年月日 2006/4/17

出身校 桜花学園高等学校



73 SF

今野 紀花

コンノ ノリカ

身長 179cm

生年月日 2000/5/1

出身校 ルイビル大学



88 SF

赤穂 ひまわり

アカホ ヒマワリ

身長 184cm

生年月日 1998/8/28

出身校 昭和学院高等学校



■ STAFF

HEAD COACH



部長

齋藤 隆夫

サイトウ タカオ

ヘッドコーチ

ヴラディミール ヴクサノヴィッチ

アシスタントコーチ

高田 紘久

タカダ ヒロヒサ

アナライジングコーチ

伊藤 恭子

イトウ キョウコ

通訳兼サポートコーチ

小関 ライアン 雄大 コセキ ライアン ユウタ

チーフトレーナー

吉田 まどか

ヨシダ マドカ

アシスタントトレーナー

重枝 優香

シゲエダ ユウカ

チーフマネージャー

成田 明香

ナリタ サヤカ

アシスタントマネージャー

赤穂 かな

アカホ カンナ

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



富士通レッドウェーブ

Wプレミア1位

皇后杯最高成績
優勝(4回、2005年
度から3連覇)



トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

Wリーグ2連覇中、皇后杯では前回大会で優勝を遂げた富士通は、町田瑠唯、宮澤夕貴、林咲希といった日本代表での経験も豊富なベテランたちを中心に黄金期を迎えている。センターのジョシュア・ンフォン・ボン・テミトペは堅実なプレーを見せ、フォワードの宮下希保は要所を締める働き。ガードの赤木里帆も主軸として安定感が増してきた。そこに4シーズンぶりに現役復帰を果たした前澤滯が加入。試合を経るごとにパフォーマンスも上がっている。シーズン中のWリーグでは4位にとどまっているが、内尾聡菜らコンディション不良で欠場していた選手たちも復帰。何より戦い方を熟知しているベテランが多いだけに、今大会でも優勝候補の本命といえる。

0 PG 山田 葵 ヤマダ アオイ 身長 167 cm 生年月日 2003/2/10 出身校 筑波大学	2 SG 林 真帆 ハヤシ マホ 身長 174 cm 生年月日 2002/2/22 出身校 東京医療保健大学	7 SG 林 咲希 ハヤシ サキ 身長 173 cm 生年月日 1995/3/16 出身校 白鷲大学	8 C ジョシュア・ンフォン・ボン・テミトペ 身長 190 cm 生年月日 2000/3/18 出身校 東京医療保健大学
9 SG 赤木 里帆 アカギ リホ 身長 167 cm 生年月日 1998/8/4 出身校 東京医療保健大学	10 PG 町田 瑠唯 マチダ ルイ 身長 162 cm 生年月日 1993/3/8 出身校 札幌山の手高等学校	11 SG 前澤 滯 マエザワ ミオ 身長 167 cm 生年月日 1991/9/12 出身校 松蔭大学	12 SF 奥 伊吹 オクイブキ 身長 174 cm 生年月日 1998/4/10 出身校 松蔭大学
13 SG 安江 沙碧梨 ヤスエ サオリ 身長 171 cm 生年月日 2001/1/17 出身校 日本体育大学	14 SF 伊森 可琳 イモリ カリン 身長 178 cm 生年月日 2000/5/10 出身校 東京医療保健大学	18 C 藤本 愛妃 フジモト アキ 身長 179 cm 生年月日 1998/2/11 出身校 東京医療保健大学	22 C アトー・オーサレン・エブリン 身長 190 cm 生年月日 1995/2/3 出身校 ケンタッキー大学
23 SG 佐藤 華純 サトウ カスミ 身長 171 cm 生年月日 2001/10/15 出身校 シカゴ大学	25 SF 内尾 聡菜 ウチオ アキナ 身長 177 cm 生年月日 1997/8/16 出身校 福岡大学附属若葉高等学校	52 PF 宮澤 夕貴 ミヤザワ ユキ 身長 183 cm 生年月日 1993/6/2 出身校 県立金沢総合高等学校	81 PF 宮下 希保 ミヤシタ キホ 身長 178 cm 生年月日 1998/10/6 出身校 県立足羽高等学校

STAFF

HEAD COACH 	顧問 平松 浩樹 ヒラマツ ヒロキ	トップアシスタントコーチ 後藤 祥太 ゴトウ ショウタ	ヘッドトレーナー 大島 久美子 オオシマ クミコ
	部長兼ゼネラルマネージャー 吉田 大輔 ヨシダ ダイスケ	コーチ 蔵楽 建斗 ゾウラク タケト	トレーナー 藤巻 みのり フジマキ ミノリ
	ヘッドコーチ 日下 光 クサカ ヒカル	アナリスト 有賀 早希 アリガ サキ	チーフマネージャー 原田 知歩 ハラダ チホ

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



ブロック代表枠

セカンドラウンド 予選結果(ベスト4以上)

福井	福井工業大学附属福井高等学校	82
新潟	新潟医療福祉大学	78
石川	北陸大学	73
長野	NKO	58
富山	龍谷富山高等学校	52
福井工業大学附属福井高等学校		93
		54

全国強豪の足羽高校を長年にわたり率いてきた林慎一郎コーチを迎え2024年に創部。2年目となる今年度は、インターハイ初出場を果たしベスト16の結果を残した。さらに、ウインターカップ初出場、皇后杯もセカンドラウンドで北信越ブロックを制し、ファイナルラウンド初出場を決めた。粘り強いディフェンスで新風を吹かせるのか。

4 SF

小池 昌鈴
コイケ マリン
身長 **170** cm
生年月日 2008/9/7
出身校 新潟清心女子中学校



5 PG

田原 莉桜
タハラ リオ
身長 **167** cm
生年月日 2009/4/10
出身校 幸町第二中学校



6 PG

平田 咲喜
ヒラタ サキ
身長 **165** cm
生年月日 2009/4/7
出身校 浜松学院中学校



7 SG

中村 莉衣奈
ナカムラ リイナ
身長 **164** cm
生年月日 2010/1/26
出身校 布水中学校



8 SG

北川 虹
キタガワ ナナ
身長 **162** cm
生年月日 2009/1/5
出身校 中央中学校



9 SG

山口 莉旺
ヤマグチ リオ
身長 **160** cm
生年月日 2008/8/17
出身校 宝泉中学校



11 PG

中村 綸花
ナカムラ リンカ
身長 **153** cm
生年月日 2009/1/28
出身校 桃山中学校



12 PG

長島 愛実
ナガシマ メグミ
身長 **160** cm
生年月日 2008/8/29
出身校 森中学校



13 PG

菅原 砂音
スガワラ シオン
身長 **157** cm
生年月日 2008/5/8
出身校 白石中学校



15 PF

阪本 いろは
サカモト イロハ
身長 **170** cm
生年月日 2009/6/27
出身校 坂井中学校



16 SF

姫路 莉緒
ヒメジ リオ
身長 **169** cm
生年月日 2008/5/16
出身校 東洋寒中学校



17 PF

玖田 小麦
クダ コムギ
身長 **172** cm
生年月日 2008/7/1
出身校 稲沢西中学校



18 PF

板橋 香苗
イタバシ カナエ
身長 **174** cm
生年月日 2008/5/14
出身校 北の杜学園中学校



19 C

マリアマ ジャロー
身長 **187** cm
生年月日 2009/4/26
出身校 SERIGNE



20 C

西原 舞
ニシハラ マイ
身長 **182** cm
生年月日 2008/4/21
出身校 中央中学校



21 C

モニカ ジョセフィーヌ
身長 **190** cm
生年月日 2008/9/15
出身校 AEDEC



STAFF

HEAD COACH



ヘッドコーチ

林 慎一郎

ハヤシ シンイチロウ

マネージャー

美濃山 美月

ミノヤマ ミヅキ

ファーストアシスタントコーチ

小林 沙織

コバヤシ サオリ

顧問

真鍋 清希

マナベ セイキ



大学推薦枠

2025年度関東大学女子選手権結果(ベスト4以上)

白鷗大学	94	
筑波大学	63	
山梨学院大学	73	東京医療保健大学
東京医療保健大学	99	
山梨学院大学	55	
筑波大学	72	
山梨学院大学	85	3位決定戦
筑波大学	62	山梨学院大学

今年度はライバル東京医療保健大の後塵を拝したが、昨年度を含む過去3回インカレ優勝を飾るなど大学界をけん引する強豪。2023年度の皇后杯では、予選でWリーグ勢2チームを破って8チームによる決勝トーナメントに出場を果たした。今大会では、激しいプレッシャーディフェンスから過去最高成績を狙う。

0 SF 谷口 憂花 タニグチ ウイカ 身長 174 cm 生年月日 2006/1/20 出身校 札幌山の手高等学校	1 SF 浜口 さくら ハマグチ サクラ 身長 174 cm 生年月日 2005/8/9 出身校 東海大学付属福岡高等学校	3 PG 林 咲良 ハヤシ サラ 身長 162 cm 生年月日 2007/2/24 出身校 京都精華学園高等学校	5 PG 池田 凜 イケダ リン 身長 165 cm 生年月日 2004/12/18 出身校 明星学園高等学校
7 SG 伊藤 知里 イトウ チサト 身長 170 cm 生年月日 2006/4/13 出身校 県立岡豊高等学校	9 SG 佐坂 光咲 ササキ ミサキ 身長 174 cm 生年月日 2004/11/28 出身校 東京成徳大学高等学校	10 PG 齋田 夢良 サイダ ユラ 身長 167 cm 生年月日 2006/4/24 出身校 桜花学園高等学校	11 PG 佐々木 凜 ササキ リン 身長 177 cm 生年月日 2005/2/28 出身校 県立湯沢翔北高等学校
15 C 武井 遙菜 タケイ ハルナ 身長 185 cm 生年月日 2005/10/26 出身校 明星学園高等学校	17 SF 高木 美波 タカキ ミナミ 身長 175 cm 生年月日 2004/4/16 出身校 桜花学園高等学校	19 SF 清水 絢 シミズ アヤ 身長 175 cm 生年月日 2004/4/1 出身校 白鷗大学足利高等学校	27 C 伊東 友莉香 イトウ ユリカ 身長 175 cm 生年月日 2006/6/5 出身校 東海大付属福岡高等学校
30 SF 清藤 優衣 セイトウ ユイ 身長 174 cm 生年月日 2007/1/22 出身校 精華女子高等学校	33 SG 緒方 梨乃 オガタリノ 身長 167 cm 生年月日 2005/6/24 出身校 大分高等学校	41 C アダム アフォディア 身長 196 cm 生年月日 2004/1/18 出身校 明星学園高等学校	77 PF 東 小姫 ヒガシ サキ 身長 177 cm 生年月日 2006/1/21 出身校 桜花学園高等学校

STAFF

HEAD COACH 	ヘッドコーチ 佐藤 智信 サトウ トシノブ	マネージャー 池田 千紗 イケダ チサ	マネージャー 宮崎 優希 ミヤザキ ユウキ
アシスタントコーチ 根本 雅敏 ネモト マサトシ	マネージャー 神山 由羽 カミヤマ ユウ	アナリスト 新川 育美 シンカワ イクミ	
トレーナー 樺澤 圭一 カバサワ ケイイチ	マネージャー 鳥海 さくら トリウミ サクラ	アナリスト 鷲尾 在 ワシオ アリ	



東京羽田ヴィッキーズ

皇后杯最高成績

ベスト8
(2024年度)

トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

昨シーズン、Wリーグ フューチャーを制して昇格を決め、今シーズンよりプレミアを主戦場としている東京羽田。だが、シーズン前に洪潤夏、北川聖、高原春季ら主力の相次ぐケガによる戦線離脱で台所事情は決して明るくはない。それでも、ヴィッキーズ一筋10年目、日本代表としても国際大会で活躍してきたガードの本橋菜子やオールラウンドな動きが魅力の岡田真那美、さらには193cmの外国籍選手、シャノン・ティアラ・フルカーが奮闘。接戦を演じている。Wリーグでの勝敗は1勝15敗と苦しんでいるが、厳しい戦いの中でもまねながらチームは着実に力を付けている。千葉歩、吉田沙織ら外角シュートを武器とするガードたちにも注目。皇后杯での起死回生を期す。

1 PG 磯野 志歩 <small>イソノ シホ</small> 身長 163cm 生年月日 2002/10/22 出身校 インカーネイト・ワード大学	2 PF 森 美麗 <small>モリ ミレイ</small> 身長 180cm 生年月日 2004/4/16 出身校 桜花学園高等学校	3 SF 岡田 真那美 <small>オカダ マナミ</small> 身長 174cm 生年月日 1998/4/29 出身校 愛知学泉大学	6 PF 星澤 真 <small>ホシザワ マコト</small> 身長 182cm 生年月日 1995/10/19 出身校 松蔭大学
7 SG 洪 潤夏 <small>ホン ユナ</small> 身長 170cm 生年月日 2001/7/18 出身校 東京医療保健大学	9 SF 倉持 のりか <small>クラモチ ノリカ</small> 身長 175cm 生年月日 2002/6/20 出身校 コフエビル・コミュニケーションズ	11 PG 松本 新湖 <small>マツモト ニコ</small> 身長 167cm 生年月日 2002/12/6 出身校 東京医療保健大学	12 PG 本橋 菜子 <small>モトハシ ナコ</small> 身長 164cm 生年月日 1993/10/10 出身校 早稲田大学
15 PG 吉田 沙織 <small>ヨシダ サオリ</small> 身長 157cm 生年月日 1997/5/29 出身校 名古屋学院大学	17 SG 千葉 歩 <small>チバ アユミ</small> 身長 167cm 生年月日 1996/8/4 出身校 専修大学	22 PF 加藤 優希 <small>カトウ ユウキ</small> 身長 179cm 生年月日 1997/2/3 出身校 桜花学園高等学校	23 C イベ エスター・チカンソ 身長 185cm 生年月日 2001/6/28 出身校 東京医療保健大学
25 PG 北川 聖 <small>キタガワ アキラ</small> 身長 166cm 生年月日 2001/2/20 出身校 大阪人間科学大学	31 SF 高原 春季 <small>タカハラ ハルキ</small> 身長 173cm 生年月日 1999/3/13 出身校 大阪薫英女学院高等学校	33 C シャノン・ティアラ・フルカー 身長 193cm 生年月日 1997/1/17 出身校 カリフォルニア州立大学ノースリッジ	77 C 栗林 未和 <small>クリバヤシ ミワ</small> 身長 188cm 生年月日 1998/8/26 出身校 札幌山の手高等学校

STAFF

HEAD COACH



部長

鈴木 俊昭 スズキ トシアキ

ゼネラルマネージャー

富田 里利 トミタ サトリ

ヘッドコーチ

萩原 美樹子 ハギワラ ミキコ

アソシエイトコーチ

平岡 富士貴 ヒラオカ フジタカ

アシスタントコーチ

奥田 花 オクダ ハナ

アナライジングコーチ

斎藤 卓 サイトウ タク

トレーナー

小林 夏実 コバヤシ ナツミ

トレーナー

中川 映夏 ナカガワ エナ

マネージャー

長谷川 捺美 ハセガワ ナツミ



今治オレンジブロッサム

皇后杯最高成績
ファイナルラウンド
出場



ブロック代表枠

セカンドラウンド 予選結果(ベスト4以上)

愛媛	今治オレンジブロッサム	118	
徳島	JOIN	36	
高知	市立高知商業高等学校	105	今治オレンジブロッサム
香川	TOSFIVE	56	
		64	

2007年創設、現在は社会人トップカテゴリーのSB1リーグに所属する四国を代表するクラブチーム。今年度の皇后杯セカンドラウンド四国ブロックを制し、ファイナルラウンド出場を決めた。本大会では1回戦からWリーグ勢に挑むことになるが、全員が主役のバスケットで初戦突破を目指す。

0 SG

矢野 紗也佳
ヤノ サヤカ
身長 **165** cm
生年月日 1999/4/27
出身校 日本体育大学

1 SF

浅間 美佳
アサマ ミカ
身長 **172** cm
生年月日 2001/3/15
出身校 金沢学院大学

2 PG

西田 恵菜
ニシダ エナ
身長 **164** cm
生年月日 2000/8/16
出身校 日本経済大学

7 PF

新谷 莉歩
ニイヤ リホ
身長 **170** cm
生年月日 2000/1/26
出身校 大阪体育大学

10 PF

平野 尚
ヒラノ ショウ
身長 **167** cm
生年月日 1999/7/14
出身校 大阪体育大学

11 SF

稲井 朋香
イナイトモカ
身長 **166** cm
生年月日 1999/6/29
出身校 園田学園女子大学

13 PF

高木 悠衣
タカギ ユイ
身長 **174** cm
生年月日 1999/8/31
出身校 天理大学

14 C

ジョル セイナブ ライ
身長 **186** cm
生年月日 2001/12/19
出身校 日本経済大学

15 SG

田村 碧衣
タムラ アオイ
身長 **165** cm
生年月日 1999/5/24
出身校 鹿屋体育大学

17 SG

山口 郁実
ヤマグチ イクミ
身長 **165** cm
生年月日 2001/6/22
出身校 日本経済大学

24 PG

大西 紬
オオニシアヤ
身長 **153** cm
生年月日 1996/9/9
出身校 京都学園大学

27 PG

中村 真湖
ナカムラ マコ
身長 **166** cm
生年月日 2003/3/3
出身校 大阪人間科学大学

31 SG

幸田 みずき
コウダ ミズキ
身長 **160** cm
生年月日 2002/3/29
出身校 鹿屋体育大学

STAFF



HEAD COACH

部長

若宮 浩

ワカミヤ ヒロシ

コーチ

林 怜建

ハヤシ リョウケン

ヘッドコーチ

松尾 政明

マツオ マサアキ

トレーナー

玉井 勇人

タマイ ハヤト

ファーストアシスタントコーチ

大塚 千里

オオツカ チサト

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



トヨタ紡織 サンシャインラビッツ

Wプレミア6位

皇后杯最高成績

3位タイ
(2021年度)



トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

Wリーグのシーズン前半戦を終えて、最も勢いがあると言っても過言ではない。司令塔の都野七海、センターのディマロ ジェシカ フリエビモ エレ、エースの東藤なな子は、いずれも1試合の平均得点が2桁を超え、そこに今シーズンから加入した長岡萌映子やチドム オデラ、入団4年目の平下結貴らが追隨する。移籍1年目の奥山理々嘉、窪田真優らも得点力が高く、伊波美空、北村悠貴もしっかり役割を果たすなど分厚い戦力を構成中だ。トヨタ自動車で2度のWリーグ優勝へと導いたルーカス・モンデーロヘッドコーチが指揮を執って3シーズン目となり結果を残したい今季。まずは一つ目のタイトルとなる皇后杯をチーム一丸となって奪いにいく。

2 PF 長岡 萌映子 ナガオカ モエコ 身長 183 cm 生年月日 1993/12/29 出身校 札幌山の手高等学校	6 C ディマロ・ジェシカ・フリエビモ・エレ 身長 188 cm 生年月日 2005/7/19 出身校 京都精華学園高等学校	7 PG 都野 七海 ツノ ナナミ 身長 159 cm 生年月日 2004/11/23 出身校 大阪薫英女学院高等学校	8 SF 東藤 なな子 トウドウ ナナコ 身長 175 cm 生年月日 2000/11/29 出身校 札幌山の手高等学校
10 PG 平下 結貴 ヒラシタ ユキ 身長 175 cm 生年月日 2003/5/14 出身校 桜花学園高等学校	11 PG 日高 ひかる ヒダカ ヒカル 身長 164 cm 生年月日 2002/9/1 出身校 大阪体育大学	16 SF 奥山 理々嘉 オクヤマ リリカ 身長 180 cm 生年月日 2000/4/6 出身校 八雲学園高等学校	18 SG 伊波 美空 イハ ミソラ 身長 167 cm 生年月日 2003/6/27 出身校 桜花学園高等学校
22 C チドム・オデラ 身長 193 cm 生年月日 1995/7/9 出身校 デューク大学	25 PF 桂 葵 カツラ アオイ 身長 182 cm 生年月日 1992/9/2 出身校 早稲田大学	26 SG 石牧 葵 イシマキ アオイ 身長 167 cm 生年月日 2000/9/17 出身校 愛知学泉大学	28 SF 北村 悠貴 キタムラ コウキ 身長 173 cm 生年月日 1994/3/29 出身校 大阪人間科学大学
31 SG 窪田 真優 クボタ マユ 身長 169 cm 生年月日 2000/8/6 出身校 桐蔭横浜大学			

STAFF

HEAD COACH 	ヘッドコーチ ルーカス・モンデーロ・ガルシア	トレーナー 河原田 愛 カワハラダ アイ	マネージャー 大西 真琴 オオニシ マコト
	ファーストアシスタントコーチ 吉永 大器 ヨシナガ タイキ	トレーナー 鳥海 杏奈 トリウミ アンナ	通訳 福崎 ナツミ フクサキ ナツミ
	アナリスト 福田 有利子 フクダ ユリコ	トレーナー 小林 利輝 コバヤシトシキ	アナリスト 櫻井 このか サクライ コノカ

CAP キャプテン **外** 外国籍 **帰** 帰化



Wプレミア3位

シャンソン化粧品 シャンソンVマジック

皇后杯最高成績

優勝(10回)



トッパリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

今シーズンは小池遥、白崎みなみ、ソウォコ マーベラス アダク ビクター、峰晴寿音、佐藤由璃果が不動のスターターとして出場。白崎、ビクター、峰晴は力強いプレーを披露して主に得点面で、佐藤は得点のみならずリバウンドでチームを後押しする。そして司令塔の小池は巧みなゲームメイクやアシストで攻撃の柱となっている。オフェンス能力の高い鷹のはし公歌やバスで魅了する堀内桜花、外国籍のカサンドラ ブラウンらバックアップメンバーたちが脇を固める。Wリーグでは接戦を落とすことが多く、あと一步のところで勝ち星にはつながっていないが、自力はある。新指揮官・小笠原真人ヘッドコーチの下、古豪復活に向けてもこの皇后杯を飛躍のきっかけとしたい。

1 PG 小池 遥 <small>コイケ ハルカ</small> 身長 167 cm 生年月日 1995/6/22 出身校 大阪人間科学大学	3 PF 佐坂 樹 <small>ササカ ミキ</small> 身長 178 cm 生年月日 1998/1/31 出身校 白鷲大学	5 PF 塩谷 心海 <small>シオタニ ココミ</small> 身長 178 cm 生年月日 2002/1/6 出身校 大阪人間科学大学	6 SG 白崎 みなみ <small>シラスギ ミナミ</small> 身長 166 cm 生年月日 1996/8/15 出身校 奈良学園大学
8 C 橋口 樹 <small>ハシグチ イツキ</small> 身長 180 cm 生年月日 1999/10/22 出身校 山梨学院大学	11 PG 堀内 桜花 <small>ホリウチ サクラ</small> 身長 167 cm 生年月日 2006/4/1 出身校 京都精華学園高等学校	12 PG 知名 祐里 <small>チナ ユウリ</small> 身長 165 cm 生年月日 2001/5/3 出身校 県立西原高等学校	15 C 濱口 京子 <small>ハマグチ キョウコ</small> 身長 181 cm 生年月日 1990/8/4 出身校 聖カタリナ学園高等学校
17 SG 鷹嶋 公歌 <small>タカノハシ キミカ</small> 身長 168 cm 生年月日 1995/7/10 出身校 愛知学泉大学	21 C カサンドラ ブラウン 身長 188 cm 生年月日 1992/6/16 出身校 ポートランド大学	22 C ソウォコ マーベラス アダク ビクター 身長 183 cm 生年月日 2001/8/27 出身校 拓殖大学	27 PF 渡部 陽美 <small>ワタナベ ミナミ</small> 身長 175 cm 生年月日 2007/1/1 出身校 三田松聖高等学校
34 PG 森 美月 <small>モリ ミツキ</small> 身長 163 cm 生年月日 2001/7/21 出身校 愛知学泉大学	44 SF 峰晴 寿音 <small>ミネハル ジュネ</small> 身長 172 cm 生年月日 1999/4/22 出身校 大阪人間科学大学	45 PF 佐藤 由璃果 <small>サトウ ユリカ</small> 身長 177 cm 生年月日 1998/9/27 出身校 筑波大学	

STAFF

HEAD COACH



部長

大岩 秀樹

オオイワ ヒデキ

副部長

佐野 総司

サノ ソウシ

ヘッドコーチ

小笠原 真人

オガサワラ マサト

ファーストアシスタントコーチ

池田 直斗

イケダ ナオト

アナリスト

山本 聖希

ヤマモト セイキ

トレーナー

加藤 絵里奈

カトウ エリナ

トレーナー

津野 文香

ツノ アヤカ

マネージャー

永山 まなみ

ナガヤマ マナミ

マネージャー

濱崎 栞

ハマサキ シオリ

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



四日市メリノール学院高等学校



ブロック代表枠

セカンドラウンド 予選結果(ベスト4以上)

愛知1位	愛知学泉大学	60	
静岡1位	RISE	64	
愛知2位	名古屋学院大学	72	四日市メリノール学院高等学校
三重1位	四日市メリノール学院高等学校	76	
		47	
		69	

中高一貫で強化を進め、2017年創部の中学校はすでに全国優勝も果たし、強豪として名を馳せる。2018年創部の高校も全国常連校となり、昨年度インターハイではベスト8入り。サイズはないが、組織立ったディフェンス力を見せ、今年度もインターハイ、ウインターカップ出場、さらに初の皇后杯ファイナルラウンド進出となった。

4 SG

吉田 陽香
ヨシダ ハルカ
身長 **165 cm**
生年月日 2007/10/26
出身校 菊陵中学校

5 SF

川口 真央
カワグチ マオ
身長 **163 cm**
生年月日 2007/8/1
出身校 四日市メリノール学院中学校

6 PF

伊藤 千寛
イトウ チヒロ
身長 **172 cm**
生年月日 2009/1/7
出身校 四日市メリノール学院中学校

7 SG

佐藤 花楓
サトウ カエデ
身長 **158 cm**
生年月日 2007/5/19
出身校 百合学院中学校

8 SF

澁谷 虹歩
シズヤ ニジホ
身長 **167 cm**
生年月日 2007/9/25
出身校 四日市メリノール学院中学校

9 SG

西山 日葵
ニシヤマ ヒナタ
身長 **164 cm**
生年月日 2008/12/18
出身校 四日市メリノール学院中学校

10 PF

望月 咲来
モチヅキ サラ
身長 **171 cm**
生年月日 2008/12/6
出身校 四日市メリノール学院中学校

11 SF

中城 向日葵
ナカシロ ヒマワリ
身長 **170 cm**
生年月日 2009/7/29
出身校 四日市メリノール学院中学校

12 SF

安達 沙那
アダチ サナ
身長 **170 cm**
生年月日 2009/7/6
出身校 亀山中学校

13 PG

中嶋 とわ
ナカシマトウ
身長 **165 cm**
生年月日 2008/11/28
出身校 四日市メリノール学院中学校

14 C

坂本 慧心
サカモト エコ
身長 **175 cm**
生年月日 2009/4/3
出身校 四日市メリノール学院中学校

15 PF

右田 陽菜乃
ミギタ ヒナノ
身長 **175 cm**
生年月日 2010/1/30
出身校 菊田中学校

16 PF

小林 蘭
コバヤシ ラン
身長 **175 cm**
生年月日 2009/4/27
出身校 四日市メリノール学院中学校

17 PG

中村 結愛
ナカムラ ユマ
身長 **160 cm**
生年月日 2009/8/11
出身校 菊陵中学校

18 C

大矢 美敬
オオヤ ミノリ
身長 **176 cm**
生年月日 2009/8/24
出身校 富田中学校

19 PG

森本 詩
モリモト ウタ
身長 **164 cm**
生年月日 2009/9/12
出身校 勢和中学校

STAFF



HEAD COACH

ヘッドコーチ

稲垣 愛

イナガキ アイ

マネージャー

川端 新菜

カワバタ ニナ

マネージャー

田中 美妃

タナカ ミヅキ

ファーストアシスタントコーチ

粟津 雪乃

アワツ ユキノ

マネージャー

山下 藍

ヤマシタ アイ

トレーナー

南 圭介

ミナミ ケイスケ

マネージャー

中村 愛結

ナカムラ アユ

マネージャー

根木 ひより

ネキ ヒヨリ



山形銀行

社会人2位

皇后杯最高成績
ファイナルラウンド
出場



社会人推薦枠


2025年度 高松宮記念杯全日本社会人プレミアムチャンピオンシップ
(ベスト4以上)

ミツウロコ	87	
秋田銀行	85	
山形銀行	67	ミツウロコ
滋賀銀行LakeVenus	63	
	80	
	64	

1992年の「べにばな国体」に向けて1989年に発足。以来、社会人バスケットボールの強豪として、長きにわたり山形県、東北地区をリードしている。今年度は国民スポーツ大会・成年の部に単独出場し、10年ぶりの優勝を果たした。ディフェンスからの速い展開のバスケットボールで、Wリーグ勢に挑戦したい。

5 SF

円谷 愛加
ツムラ マナカ
身長 **173** cm
生年月日 2002/9/27
出身校 桐蔭横浜大学



6 C

西村 春佳
ニシムラ ハルカ
身長 **182** cm
生年月日 2002/4/17
出身校 愛知学泉大学



7 PG

清實 茉宝
キヨザネ マホ
身長 **160** cm
生年月日 2001/10/15
出身校 山梨学院大学



8 SF

近藤 萌
コンドウ モエ
身長 **173** cm
生年月日 2001/11/11
出身校 専修大学



9 PG

木村 陽菜
キムラ ヒナ
身長 **169** cm
生年月日 1997/6/19
出身校 広島文化学園大学




10 C

谷 優実
タニ ユウミ
身長 **174** cm
生年月日 1997/3/10
出身校 愛知学泉大学



12 SG

樋口 沙彩
ヒグチ サヤ
身長 **169** cm
生年月日 2002/9/22
出身校 愛知学泉大学



13 PF

浅野 瑛菜
アサノ エナ
身長 **176** cm
生年月日 1999/11/10
出身校 山梨学院大学




14 PG

加藤 遥菜
カトウ ハルナ
身長 **167** cm
生年月日 2001/3/2
出身校 江戸川大学



15 SF

荻田 美
オギタ ミユ
身長 **175** cm
生年月日 2002/9/13
出身校 筑波大学



16 C

宮寄 沙也加
ミヤザキ サヤカ
身長 **180** cm
生年月日 2001/3/24
出身校 名古屋学院大学



17 PG

藤原 穂香
フジワラ ホノカ
身長 **161** cm
生年月日 1996/12/18
出身校 桜花学園大学



18 SG

福田 希望
フクダ ノゾミ
身長 **168** cm
生年月日 2001/9/27
出身校 大阪人間科学大学



STAFF



HEAD COACH

部長

安藤 利博

アンドウトシヒロ

トレーナー

菊地 忍

キクチ シノブ

ヘッドコーチ

木林 稚栄

キバヤシ チエ

トレーナー

中嶋 康博

ナカジマ ヤスヒロ

アシスタントコーチ

依田 咲子

ヨダ サキコ

トレーナー

遠藤 皓樹

エンドウ コウキ

CAP キャプテン 外 外国籍 帰化



山梨学院大学

大学3位

皇后杯最高成績
ファイナルラウンド
初出場



大学推薦枠

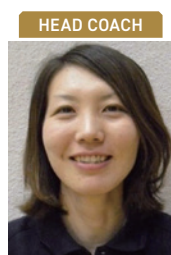
2025年度関東大学女子選手権結果(ベスト4以上)

白鷗大学	94	
筑波大学	63	
山梨学院大学	73	東京医療保健大学
東京医療保健大学	99	
山梨学院大学	55	
筑波大学	72	
山梨学院大学	85	3位決定戦
筑波大学	62	山梨学院大学

2008年の創部以来、強化を進め2010年度には関東リーグ2部で優勝。2020年度からは念願の1部に昇格。降格を経験するも、昨年度のインカレで4位。1部に復帰した今年度の関東選手権で3位に食い込んだ。皇后杯には2012年度に関東ブロック代表として初出場を果たしている。今大会は初戦を突破し、Wリーグ勢にチャレンジするのが目標。

0 PF 平野 和々美 ヒラノ ナナミ 身長 168 cm 生年月日 2005/11/11 出身校 県立小林高等学校	1 PG 赤石 華音 アカishi カノン 身長 161 cm 生年月日 2005/10/10 出身校 高知中央高等学校	3 SG 牧野 琉依 マキノ ルイ 身長 165 cm 生年月日 2007/2/13 出身校 千葉経済大学附属高等学校	5 SG 藤澤 夢叶 フジサワ ユウカ 身長 161 cm 生年月日 2003/5/28 出身校 岐阜女子高等学校
7 SG 安藤 美優 アンドウ ミユウ 身長 171 cm 生年月日 2006/8/3 出身校 岐阜女子高等学校	13 PG 樋渡 梨桜 ヒワタシリオ 身長 167 cm 生年月日 2005/4/6 出身校 精華女子高等学校	17 SG 北條 瑚奈 ホウジョウ ココナ 身長 163 cm 生年月日 2005/5/9 出身校 大阪桐蔭高等学校	18 C 山田 愛結 ヤマダ アユ 身長 177 cm 生年月日 2003/10/12 出身校 県立足羽高等学校
22 C アチャラ オゲチクランシー 身長 180 cm 生年月日 2004/1/24 出身校 昭学院高等学校	24 SG 佐藤 彩葉 サトウ ヒロハ 身長 157 cm 生年月日 2003/8/4 出身校 千葉経済大学附属高等学校	26 SG 岩佐 妃花 イワサ ヒメカ 身長 165 cm 生年月日 2005/4/5 出身校 聖カタリナ学園高等学校	31 C 秋谷 詩 アキヤ ウタ 身長 175 cm 生年月日 2005/1/6 出身校 柴田学園高等学校
35 SG 京橋 菜々子 キョウバシ ナナコ 身長 167 cm 生年月日 2004/5/1 出身校 名古屋女子大学高等学校	70 SF 皆川 もえ ミナガワ モエ 身長 169 cm 生年月日 2003/9/3 出身校 山村学園高等学校	73 SF 今野 希和 コノ キワ 身長 170 cm 生年月日 2003/4/30 出身校 札幌山の手高等学校	80 C 佐藤 双羽 サトウ フタバ 身長 176 cm 生年月日 2003/7/22 出身校 大阪薫英女学院高等学校

STAFF



HEAD COACH

ヘッドコーチ

林 五十美

ハヤシ イソミ

マネージャー

黒部 志穂

クロベ シホ

学生スタッフ

田中 音羽

タナカ オトハ

ファーストアシスタントコーチ

外村 悠貴

トムラ ユウキ

アシスタントマネージャー

中西 布羽

ナカニシ フウ

トレーナー

伊藤 美和子

イトウ ミワコ

学生スタッフ

座親 このみ

ザオヤ コノミ

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



笠戸ブレイブスター

中国ブロック代表

皇后杯最高成績
ファイナルラウンド
出場



ブロック代表枠

セカンドラウンド 予選結果

山口	笠戸ブレイブスター	81
鳥取	鳥取城北高等学校	83
広島	BUZZER	76
岡山	環太平洋大学	65
島根	県立松江商業高等学校	39
笠戸ブレイブスター		79

実業団チームの日立笠戸として活動してきたが、より上のステージを目指すために、昨年度から笠戸ブレイブスターとして新たにスタートを切った。今年度はSB2西日本女子リーグ1位を確定、皇后杯セカンドラウンドでも中国ブロックを勝ち抜いた。ファイナルラウンドでは1回戦を突破し、Wリーグ勢に挑戦するのが目標。

4 SG

金城 麻樹

カネシロ マキ

身長 165 cm

生年月日 2000/10/10

出身校 大阪産業大学



5 PF

福永 愛

フクナガ アイ

身長 168 cm

生年月日 2002/11/12

出身校 大阪産業大学



6 SG

関口 奈優

セキグチ ナユ

身長 164 cm

生年月日 2002/7/29

出身校 広島都市学園大学



7 SG

藤井 花歩

フジイ カホ

身長 158 cm

生年月日 2001/12/3

出身校 日本経済大学



8 PF

山野 沙彩

ヤマノ サヤ

身長 170 cm

生年月日 2000/9/4

出身校 天理大学



9 PF

山永 友美

ヤマナガ ユミ

身長 173 cm

生年月日 1996/2/29

出身校 倉敷芸術科学大学



10 PG

桑原 結衣

クワハラ ユイ

身長 157 cm

生年月日 1998/7/27

出身校 日本経済大学



11 SF

山成 歩

ヤマナリ アユミ

身長 171 cm

生年月日 1997/5/23

出身校 名古屋経済大学



12 SF

佐藤 杏音

サトウ キョウト

身長 170 cm

生年月日 2002/12/3

出身校 順天堂大学



13 PG

木村 美月

キムラ ミツキ

身長 155 cm

生年月日 2002/3/6

出身校 大阪産業大学



14 PF


中久保 蘭

ナカクボ ラン

身長 172 cm

生年月日 2003/2/5

出身校 東海大学九州



15 SG

鈴木 恋杏

スズキ レア

身長 164 cm

生年月日 2002/10/21

出身校 中部大学



16 SG

幕 風沙

マフ ナギサ

身長 166 cm

生年月日 2002/10/14

出身校 武庫川女子大学



STAFF

HEAD COACH



代表

池部 宏

イケベ ヒロシ

マネージャー

武村 奈保

タケムラ ナホ

ヘッドコーチ

梅田 貴之

ウメダ タカユキ

ファーストアシスタントコーチ

奥田 つかさ

オクダ ツカサ

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

Wリーグ プレミアにおいてレギュラーシーズンの首位を走るトヨタ自動車。機動力あるガード陣を筆頭に常にプレッシャーをかけ続けるディフェンスが強みだ。そのガードでは山本麻衣、安間志織がオフェンスの中心を担い、速い攻めを演出。自らの得点力も高い選手たちで、相手にとっては厄介な存在だ。インサイドでは新人のオコンクウォ スーザン アマカが得点やリバウンドを量産。2年目の岡本美優、田中平和らも体を張った動きで支えている。また、ウイングには平下愛佳や三浦舞華ら外角シュート得意とする選手たちも構成しており、隙のない布陣といえる。Wリーグでの快進撃そのままに、今大会は2013年以来的優勝を奪いにいく。

1 PG 古木 梨子 フルキ リコ 身長 158 cm 生年月日 2001/5/3 出身校 東京医療保健大学	3 PG 小野寺 佑奈 オノデラ ユナ 身長 157 cm 生年月日 2002/3/24 出身校 日本体育大学	7 PG 横山 智那美 ヨコヤマ チナミ 身長 173 cm 生年月日 2004/4/6 出身校 桜花学園高等学校	8 SF 金田 愛奈 カネダ マナ 身長 175 cm 生年月日 1998/7/9 出身校 大阪人間科学大学
11 PF 岡本 美優 オカモト ミユウ 身長 179 cm 生年月日 2001/4/23 出身校 東京医療保健大学	13 C オコンクウォ スーザン アマカ 身長 187 cm 生年月日 2002/4/7 出身校 白鷗大学	14 SF 平下 愛佳 ヒラシタ アイカ 身長 178 cm 生年月日 2002/1/14 出身校 桜花学園高等学校	15 PG 安間 志織 ヤスマ シオリ 身長 162 cm 生年月日 1994/7/22 出身校 拓殖大学
20 SF 永田 萌絵 ナガタ モエ 身長 175 cm 生年月日 1997/6/20 出身校 東京医療保健大学	23 PG 山本 麻衣 ヤマモト マイ 身長 163 cm 生年月日 1999/10/23 出身校 桜花学園高等学校	24 C シュック カイリー アネット 身長 196 cm 生年月日 1998/3/18 出身校 ルイビル大学	30 SG 三浦 舞華 ミウラ マイカ 身長 170 cm 生年月日 2001/8/13 出身校 白鷗大学
42 PF 田中 平和 タナカ ウフオマ 身長 181 cm 生年月日 2002/2/10 出身校 白鷗大学			

STAFF

HEAD COACH 	ヘッドコーチ 大神 雄子 オオガ ユウコ	プレイヤーズディベロップメント 山本 柊輔 ヤマモト シュウスケ	パフォーマンスディレクター 吉岡 淳平 ヨシオカ ジュンペイ
	アシスタントヘッドコーチ イヴァントリノス	テクニカルスタッフ 千木良 知春 チギラ チハル	フィジカルコンディショニングコーチ 藤井 翔太 フジイ ショウタ
	アシスタントコーチ 武津 祐太郎 タケツ ユウタロウ	サポートスタッフ 川井 烈 カワイ レツ	トレーナー 石山 静香 イシヤマ シズカ



日立ハイテク クーガーズ

Wプレミア8位

皇后杯最高成績

ベスト4
(2020年度)



トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

今シーズンのWリーグではフューチャーに属している日立ハイテクだが、そのフューチャーでは14試合を終えた時点で12勝2敗で1位。期待の若手ガードである森岡ほのかのケガによる長期離脱は痛い。司令塔の樋口鈴乃、新人の館山萌菜、ENEOSから移籍し優勝経験もある高田静、外国籍選手のファール アミナタにデヴォス ローレと、今シーズンより加入した選手たちが躍動。チーム在籍4年目を迎える中野由希もリバウンドやディフェンスなど粘りのプレーで支えている。ほかにも新人の栗谷真帆ら名前を挙げればキリがないほど選手それぞれが持ち味を発揮。誰がスターターで出てもおかしくない戦力を誇っているだけに、皇后杯では台風の目となるか？

<div>11</div> <div>C</div> <div>ファール アミナタ</div> <div>身長 198cm</div> <div>生年月日 2004/1/11</div> <div>出身校 日本経済大学</div>		<div>13</div> <div>SG</div> <div>池松 美波</div> <div>イケマツ ミナミ</div> <div>身長 166cm</div> <div>生年月日 2001/12/19</div> <div>出身校 東京医療保健大学</div>		<div>14</div> <div>PG</div> <div>森岡 ほのか</div> <div>モリオカ ホノカ</div> <div>身長 173cm</div> <div>生年月日 2004/11/18</div> <div>出身校 札幌山の手高等学校</div>		<div>18</div> <div>PG</div> <div>樋口 鈴乃</div> <div>ヒグチ スズノ</div> <div>身長 163cm</div> <div>生年月日 2001/6/12</div> <div>出身校 白鷗大学</div>	
<div>19</div> <div>SF</div> <div>館山 萌菜</div> <div>タテヤマ モナ</div> <div>身長 177cm</div> <div>生年月日 2002/11/6</div> <div>出身校 白鷗大学</div>		<div>21</div> <div>PG</div> <div>高田 静</div> <div>タカダ シズカ</div> <div>身長 168cm</div> <div>生年月日 1996/6/21</div> <div>出身校 早稲田大学</div>		<div>30</div> <div>SF</div> <div>水野 妃奈乃</div> <div>ミズノ ヒナノ</div> <div>身長 173cm</div> <div>生年月日 1997/2/4</div> <div>出身校 拓殖大学</div>		<div>32</div> <div>SG</div> <div>河村 美侑</div> <div>カワムラ ミユ</div> <div>身長 171cm</div> <div>生年月日 1998/5/12</div> <div>出身校 専修大学</div>	
<div>34</div> <div>SF</div> <div>林 未紗</div> <div>ハヤシ ミサ</div> <div>身長 176cm</div> <div>生年月日 2001/4/1</div> <div>出身校 筑波大学</div>		<div>35</div> <div>PF</div> <div>デヴォス ローレ</div> <div>身長 185cm</div> <div>生年月日 1999/4/14</div> <div>出身校 コロラド州立大学</div>		<div>45</div> <div>PF</div> <div>栗谷 真帆</div> <div>アワタニ マホ</div> <div>身長 182cm</div> <div>生年月日 2002/12/6</div> <div>出身校 筑波大学</div>		<div>51</div> <div>SF</div> <div>中野 由希</div> <div>ナカノ ユキ</div> <div>身長 181cm</div> <div>生年月日 1996/9/28</div> <div>出身校 福岡大学</div>	
<div>74</div> <div>SF</div> <div>國井 仁奈梨</div> <div>クニイ ヒナリ</div> <div>身長 175cm</div> <div>生年月日 2001/9/20</div> <div>出身校 愛知学泉大学</div>		<div>81</div> <div>PF</div> <div>森岡 奈菜未</div> <div>モリオカ ナナミ</div> <div>身長 181cm</div> <div>生年月日 2001/8/10</div> <div>出身校 筑波大学</div>					

STAFF



HEAD COACH

ヘッドコーチ

柏倉 秀徳 カシワクラ ヒデノリ

アソシエイトヘッドコーチ

知花 武彦 チバナ タケヒコ

アシスタントコーチ

浅野 秀太 アサノ シュウタ

S&Cコーチ

西田 貴之 ニシダ タカユキ

トレーナー

間宮 千夏 マミヤ チナツ

トレーナー

大串 梨沙 オオグシ リサ

マネージャー

鈴木 彩可 スズキ アヤカ

サポートスタッフ

篠原 恵 シノハラ メグミ

通訳

志田 萌 シダ モエ

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



江戸川大学

関東ブロック代表

皇后杯最高成績
ファイナルラウンド
初出場



ブロック代表枠

セカンドラウンド 予選結果(ベスト4以上)

埼玉	共栄大学	93	
茨城	筑波大学	92	
千葉	江戸川大学	73	江戸川大学
東京	拓殖大学	87	
		82	
		78	

関東リーグ2部に所属し、リーグ戦は4位と苦戦したが、皇后杯セカンドラウンドでは関東ブロックを制し、初のファイナルラウンド進出。12月のインカレでも目標としていた初のベスト16入りを果たした。インサイドを堅実に攻め、ディフェンスからトランジションを繰り出し、一つでも多く勝ち上がるのが目標だ。

0 PF

新垣 星
アラカキ ティナ
身長 **168** cm
生年月日 2003/7/12
出身校 精華女子高等学校



1 PF

エズゴ 梨々杏
エズゴ リリアン
身長 **168** cm
生年月日 2003/10/22
出身校 昭和学院高等学校



3 PG

黒澤 陽
クロサワ ハル
身長 **157** cm
生年月日 2004/3/22
出身校 県立久喜高等学校



4 SG

原田 華怜
ハラダ カレン
身長 **164** cm
生年月日 2003/10/31
出身校 明秀日立高等学校



5 PF

藤山 ゆりあ
フジヤマ ユリア
身長 **170** cm
生年月日 2003/4/16
出身校 明秀日立高等学校



13 PF

上岡 こころ
カミオカ ココロ
身長 **173** cm
生年月日 2004/10/11
出身校 矢板中央高等学校



14 SG

衛藤 伶奈
エトウ レイナ
身長 **169** cm
生年月日 2005/4/30
出身校 昭和学院高等学校



17 PF

大森 野乃子
オオモリ ノノコ
身長 **170** cm
生年月日 2004/4/12
出身校 鶴学園高等学校



18 SF

戸塚 日和多
トツカ ヒナタ
身長 **169** cm
生年月日 2004/8/4
出身校 明秀日立高等学校



19 PF

山田 真緒
ヤマダ マオ
身長 **167** cm
生年月日 2007/1/9
出身校 鶴学園高等学校



23 C

オズルンバ グッドネス アヨミデ
身長 **195** cm
生年月日 2003/10/23
出身校 一関学院高等学校



33 PF

細野 未琉香
ホソノ ミルカ
身長 **176** cm
生年月日 2004/3/6
出身校 市立柏高等学校



35 PG

松田 光琴
マツダ ミコト
身長 **155** cm
生年月日 2003/6/15
出身校 市立松戸高等学校




38 PF

宮 淑華
ミヤ ヨシカ
身長 **173** cm
生年月日 2006/10/5
出身校 札幌山の手高等学校



57 SG

五月女 優羽
ソウメ ユウ
身長 **164** cm
生年月日 2003/5/7
出身校 作新学院高等学校



77 SF

福嶋 恋
フクシマ レン
身長 **166** cm
生年月日 2003/9/1
出身校 千葉英和高等学校



STAFF



HEAD COACH

部長

守屋 志保

モリヤ シホ

トレーナー

増田 修大

マスダ ナオヒロ

マネージャー

前田 紫音

マエダ シオン

ヘッドコーチ

石川 優希

イシカワ ユウキ

トレーナー

宮川 楓

ミヤガワ カエド

マネージャー

蛸名 佳笑

エビナ カエ

ファーストアシスタントコーチ

樋口 栞帆

ヒグチ シホ

トレーナー

大森 典子

オオモリ ノリコ

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



社会人推薦枠

2025年度 高松宮記念杯全日本社会人プレミアムチャンピオンシップ
(ベスト4以上)

ミツウロコ	87	
秋田銀行	85	
山形銀行	67	
滋賀銀行LakeVenus	63	
	80	
	64	
		ミツウロコ

2012年のチーム発足以来、着実に強化を進めてきたミツウロコ。ついに昨年度の全日本社会人プレミアムチャンピオンシップで優勝を果たし、社会人1位として皇后杯の出場権を手にした。社会人トップカテゴリーのSB1リーグに参戦し、昨年度優勝、今年度も12月21日時点で1位と好調。堅いディフェンスを武器に一戦必勝で皇后杯に臨む。

<p>2 SF</p> <p>志村 愛莉</p> <p>シムラ アイリ</p> <p>身長 172cm</p> <p>生年月日 2002/12/5</p> <p>出身校 専修大学</p>	<p>5 PG</p> <p>中村 帆香</p> <p>ナカムラ ホノカ</p> <p>身長 170cm</p> <p>生年月日 2003/1/27</p> <p>出身校 専修大学</p>	<p>6 SG</p> <p>清水 咲来</p> <p>シミズ サクラ</p> <p>身長 168cm</p> <p>生年月日 2001/3/10</p> <p>出身校 大阪人間科学大学</p>	<p>11 PG</p> <p>田中 万衣羽</p> <p>タナカ マイハ</p> <p>身長 160cm</p> <p>生年月日 2001/8/13</p> <p>出身校 筑波大学</p>
<p>12 PF</p> <p>小林 美穂</p> <p>コバヤシ ミホ</p> <p>身長 177cm</p> <p>生年月日 2001/9/20</p> <p>出身校 白鷗大学</p>	<p>14 C</p> <p>カマラ アセトウ</p> <p>身長 183cm</p> <p>生年月日 2001/5/21</p> <p>出身校 拓殖大学</p>	<p>15 SF</p> <p>矢野 里美</p> <p>ヤノ サトミ</p> <p>身長 171cm</p> <p>生年月日 2002/12/11</p> <p>出身校 日本体育大学</p>	<p>17 PF</p> <p>狩野 美里</p> <p>カノウ ミサト</p> <p>身長 178cm</p> <p>生年月日 2002/1/28</p> <p>出身校 拓殖大学</p>
<p>18 PF</p> <p>内海 海</p> <p>ウツミ ミウ</p> <p>身長 172cm</p> <p>生年月日 2001/3/27</p> <p>出身校 大阪人間科学大学</p>	<p>19 SG</p> <p>今村 優花</p> <p>イマムラ ユウカ</p> <p>身長 155cm</p> <p>生年月日 1998/7/20</p> <p>出身校 白鷗大学</p>	<p>20 C</p> <p>増田 泉美</p> <p>マズダイズミ</p> <p>身長 180cm</p> <p>生年月日 2001/6/12</p> <p>出身校 筑波大学</p>	<p>23 PF</p> <p>小鷹 実春</p> <p>コタカ ミハル</p> <p>身長 176cm</p> <p>生年月日 1999/3/26</p> <p>出身校 白鷗大学</p>
<p>25 PF</p> <p>木村 瑞希</p> <p>キムラ ミズキ</p> <p>身長 175cm</p> <p>生年月日 2001/6/25</p> <p>出身校 日本体育大学</p>	<p>28 PF</p> <p>篠崎 来夢</p> <p>シノザキ ライム</p> <p>身長 171cm</p> <p>生年月日 2000/12/21</p> <p>出身校 専修大学</p>		

STAFF

<p>HEAD COACH</p>	<p>部長</p> <p>二見 敦</p> <p>フタミ アツシ</p>	<p>ファーストアシスタントコーチ</p> <p>川守 立真</p> <p>カワモリ リュウマ</p>	<p>マネージャー</p> <p>須藤 彩季</p> <p>スドウ サキ</p>
	<p>コーチ</p> <p>長澤 孝幸</p> <p>ナガサワ タカユキ</p>	<p>コーチ</p> <p>山崎 拓</p> <p>ヤマサキ タク</p>	<p>マネージャー</p> <p>岡田 空</p> <p>オカダ ソラ</p>
	<p>ヘッドコーチ</p> <p>石川 歩</p> <p>イシカワ アユミ</p>	<p>コーチ</p> <p>工藤 太陽</p> <p>クドウ タイヨウ</p>	



三菱電機 コアラーズ

Wフューチャー2位

皇后杯最高成績

優勝(1963年度)



トップリーグ推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

2018-19シーズンにはWリーグで準優勝、皇后杯では2020年大会でベスト4という成績を収めた三菱電機。ここ数シーズンは新たなスタイルを構築しているところだ。Wリーグでは思うように勝ちにつながらない試合もあったが、キャプテンの澤知央や山本雪鈴といった若手選手が着実に経験を積んでおり、今シーズンより移籍で加入した中村華祈もアグレッシブにプレー。中堅の永井唯菜、大崎万葉らは大事な場面でのシュートが光り、Wリーグ準優勝を経験している渡邊亜弥や小菅由香らの存在も大きい。フューチャーリーグで得点ランキング1位を走るサイーシャ・ゴリーのインサイドプレーも強烈で、今大会でも虎視眈々と上位進出を狙っている。

0 C ティヤ・コースディル <small>身長 186 cm</small> <small>生年月日 1999/1/5</small> <small>出身校 デューク大学</small>		3 SF 永井 唯菜 <small>ナガイ ユイナ</small> <small>身長 177 cm</small> <small>生年月日 1999/11/3</small> <small>出身校 大阪桐蔭高等学校</small>		4 SG 根本 葉瑠乃 <small>ネモト ハルノ</small> <small>身長 176 cm</small> <small>生年月日 1995/4/18</small> <small>出身校 常葉学園高等学校</small>		5 PG 高橋 笑由子 <small>タカハシ フユコ</small> <small>身長 164 cm</small> <small>生年月日 1994/11/23</small> <small>出身校 白鷗大学</small>	
7 PG トビン・ブランドー・みやび <small>身長 171 cm</small> <small>生年月日 2003/12/7</small> <small>出身校 パシフィック・ルーザン大学</small>		9 PF 小菅 由香 <small>コスゲ ユカ</small> <small>身長 181 cm</small> <small>生年月日 1991/12/9</small> <small>出身校 日本体育大学</small>		11 SG 山本 雪鈴 <small>ヤマモト ユリン</small> <small>身長 165 cm</small> <small>生年月日 2004/12/31</small> <small>出身校 大阪桐蔭高等学校</small>		12 PG 吉田 亜沙美 <small>ヨシダ アサミ</small> <small>身長 165 cm</small> <small>生年月日 1987/10/9</small> <small>出身校 東京成徳大学高等学校</small>	
14 SF 大崎 万葉 <small>オオサキ マナ</small> <small>身長 173 cm</small> <small>生年月日 2002/5/3</small> <small>出身校 高知中央高等学校</small>		17 PG 榎本 麻那 <small>エノモト マナ</small> <small>身長 176 cm</small> <small>生年月日 2005/8/17</small> <small>出身校 岐阜女子高等学校</small>		22 C サイーシャ・ゴリー <small>身長 188 cm</small> <small>生年月日 1993/8/4</small> <small>出身校 ミシガン大学</small>		24 SG 中村 華祈 <small>ナカムラ カノン</small> <small>身長 172 cm</small> <small>生年月日 2003/1/24</small> <small>出身校 札幌山の手高等学校</small>	
38 PF 澤 知央 <small>サワ チヒロ</small> <small>身長 178 cm</small> <small>生年月日 2004/10/2</small> <small>出身校 龍谷富山高等学校</small>		39 PG 藤田 和 <small>フジタ ノドカ</small> <small>身長 173 cm</small> <small>生年月日 2001/7/5</small> <small>出身校 岐阜女子高等学校</small>		45 SG 渡邊 亜弥 <small>ワタナベ アヤ</small> <small>身長 169 cm</small> <small>生年月日 1992/8/12</small> <small>出身校 福岡大学附属若葉高等学校</small>		77 C 金澤 英果 <small>カナザワ ハナカ</small> <small>身長 180 cm</small> <small>生年月日 2000/12/27</small> <small>出身校 大阪人間科学大学</small>	

STAFF

HEAD COACH 	部長 山田 耕司 ヤマダ コウジ	アシスタントコーチ 王 新朝喜 オウ アサコ	ストレングス&コンディショニングコーチ 小田 宏紀 オダ ヒロキ
	ヘッドコーチ 古賀 京子 コガ キョウコ	サポートスタッフ兼通訳 小谷 大貴 コタニ ダイキ	チーフトレーナー 行本 渚 ユキモト ナギサ
	アソシエイトヘッドコーチ 小野寺 龍太郎 オノデラ リュウタロウ	ビデオアナリスト 山本 悠太 ヤマモト ユウタ	マネージャー 中嶋 そら ナカシマ ソラ

CAP キャプテン 外 外国籍 帰 帰化



ブロック代表枠

セカンドラウンド結果

秋田	秋田銀行	92	
福島	遊龍倶楽部	70	56
岩手	富士大学	49	
青森	八戸学院大学	57	102
山形	県立山形中央高等学校	65	74
宮城	仙台大学	61	
		55	
			秋田銀行

2023年度には全日本社会人プレミアムチャンピオンシップで4年ぶり3度目の優勝を果たしている強豪。今年度は皇后杯セカンドラウンドを勝ち上がり、東北ブロック代表としてファイナルラウンド出場権を獲得。今大会では「一戦必勝」の心構えで、最後まで走り切るバスケットボールを披露する。

3 PG

村上 瑠奈
ムラカミ ルナ
身長 **163cm**
生年月日 1999/11/10
出身校 大阪人間科学大学

6 SG

浅利 千
アサリ セン
身長 **165cm**
生年月日 2001/8/15
出身校 県立湯沢翔北高等学校

7 SF

勝田 瞳子
カツタ トウコ
身長 **170cm**
生年月日 2003/2/11
出身校 北翔大学

8 SG

熊谷 日穂
クマガイ ヒマリ
身長 **163cm**
生年月日 1998/10/14
出身校 松蔭大学

13 PF

高山 美瑠
タカヤマ ミル
身長 **175cm**
生年月日 2000/12/21
出身校 桐蔭横浜大学

17 PF

齊藤 可怜
サイトウ カレン
身長 **170cm**
生年月日 2001/6/13
出身校 大阪人間科学大学

18 SG

阿部 泉美
アベイツミ
身長 **168cm**
生年月日 1999/1/8
出身校 東京医療保健大学

19 SG

目黒 歩子
メグロ アユコ
身長 **168cm**
生年月日 2000/6/11
出身校 北翔大学

21 PG

小野寺 紅美
オノデラクミ
身長 **165cm**
生年月日 2001/4/17
出身校 日本大学

28 PF

佐藤 仁美
サトウ ヒトミ
身長 **170cm**
生年月日 2001/5/11
出身校 東京医療保健大学

30 SF

小山内 夢依
オサナイ メイ
身長 **168cm**
生年月日 2006/1/30
出身校 県立能代松陽高等学校

33 PF

古野 実希
フルノ ミキ
身長 **174cm**
生年月日 1998/8/15
出身校 拓殖大学

70 SG

片岡 瑠稀
カタオカ タマキ
身長 **165cm**
生年月日 2002/3/18
出身校 環太平洋大学

STAFF

HEAD COACH



ヘッドコーチ

佐藤 清美

サトウ キヨミ

チームスタッフ

夏井 一志

ナツイ カズシ

アシスタントコーチ

阿部 優美香

アベ ユウカ

トレーナー

鈴木 唯

スズキ ユイ

監督

近藤 公治

コンドウ コウヤ

マネージャー

石川 眞子

イシカワ マコ



トップリング推薦枠(Wプレミア、Wフューチャー)

皇后杯10連覇という大会記録を持つENEOSは、女子バスケットボール界を引っ張ってきたチームだ。だが、前々大会では準優勝、前回大会にいたってはベスト8に甘んじている。それだけに、今大会では女王奪還が唯一の目標となる。ダブルキャプテンの星杏璃と宮崎早織のガード陣や今シーズンからENEOSの一員となった馬瓜エブリン、外国籍のプレッチェル レイン アシュテンらが軸。196cmのアシュテンリほか、188cmの梅沢カディシャ樹奈など180cm台は4人。170cm台後半の選手も多く、高さではWリーグで一番を誇る。3大会ぶりの優勝へ。今シーズンをもって引退を表明している宮崎や日本代表で目覚ましい活躍を見せた2年目の田中こころのプレーからも目が離せない。

0 PF 馬瓜 エブリン マウリ エブリン 身長 180 cm 生年月日 1995/6/2 出身校 桜花学園高等学校	5 SF 藤本 愛瑚 フジモト マコ 身長 179 cm 生年月日 1999/10/1 出身校 桜花学園高等学校	8 SF 花島 百香 ハナシマ モモカ 身長 178 cm 生年月日 2003/4/22 出身校 昭和学院高等学校	11 C プレッチェル アシュテン 身長 196 cm 生年月日 2001/5/11 出身校 スタンフォード大学
12 PG 佐藤 由佳 サトウ ユカ 身長 172 cm 生年月日 1999/9/18 出身校 筑波大学	17 SF 三田 七南 サンタ ナナ 身長 179 cm 生年月日 2002/10/2 出身校 昭和学院高等学校	24 C 梅沢 カディシャ 樹奈 ウメザワ カディシャジュナ 身長 188 cm 生年月日 1998/7/26 出身校 桜花学園高等学校	25 PF 山下 笑伶奈 ヤマシタ エレナ 身長 180 cm 生年月日 2007/2/2 出身校 昭和学院高等学校
26 PG 田中 こころ タナカ ココロ 身長 173 cm 生年月日 2006/1/10 出身校 桜花学園高等学校	27 SF 八木 悠香 ヤギ ハルカ 身長 177 cm 生年月日 2005/4/15 出身校 京都精華学園高等学校	32 PG 宮崎 早織 ミヤザキ サオリ 身長 167 cm 生年月日 1995/8/27 出身校 聖カタリナ学園高等学校	38 SG 鈴置 彩夏 スズオキ サヤカ 身長 170 cm 生年月日 2000/10/9 出身校 白鷗大学
59 SG 星 杏璃 ホシ アンリ 身長 171 cm 生年月日 2000/5/9 出身校 昭和学院高等学校	99 PF オコエ 桃の花 オコエ モニカ 身長 182 cm 生年月日 1999/2/7 出身校 明星学園高等学校		

STAFF

HEAD COACH 	監督 佐久本 智 サクモト サトシ	S&Cコーチ 千葉 秀哉 チバ ヒデア	スキルディベロップメントスタッフ スキート ジャレン
	ヘッドコーチ ティム・ルイス	チーフトレーナー 内田 幸織 ウチダ サオリ	スキルディベロップメントスタッフ 大浦 宗博 オオウラ ムネヒロ
	マネージャー 小松 佳緒里 コマツ カオリ	トレーナー 鄭 愛華 チョン エファ	通訳 伊波 壱成 イハ イッセイ

皇后杯

EMPRESS'S CUP BASKETBALL 2025-26

皇后杯の記録

●前回大会 (第91回大会／2024年度) の記録



皇后杯ファイナルラウンド

富士通が17大会ぶり4度目の王座! ファイナル初進出のアイシンを65-55で下す

第91回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会は、2024年12月15日に国立競技場代々木第二体育館で行われた決勝で富士通 レッドウェーブがアイシン ウィングスを破り、17大会ぶり4度目となる日本一に輝いた。直近の3年間は連続で準決勝の壁に跳ね返されてきた富士通。しかしベテランシューターの林咲希を故障で欠く中、2次ラウンドからの4試合全てで失点を50点台にとどめる堅守に加え、宮澤夕貴や町田瑠唯らがオフェンスでも奮起。初のファイナル進出で一気に頂点を目指したアイシンの勢いを封じ、みごと王座にたどり着いた。

全国47都道府県代表とWリーグ所属14チームの総勢61チームが参加し、賜杯を目指した今大会ではWリーグ勢が概ね順調に勝ち上がり、上位を占める流れとなった。その中で、1次ラウンド1回戦を突破した京都精華学園高校と宮崎県立小林高校、アルビレックス新潟BBラビッツを破って2次ラウンド決勝進出を果たした山形銀行の殊勲の勝利が光る。また、当時Wリーグフューチャー所属だった東京羽田ヴィッキーズは、同Wリーグプレミア所属の日立ハイテク クーガーズを2次ラウンド決勝で下してファイナルラウンドに駒を進めた。

8チーム全てがWリーグ勢となったクォーターファイナルでは、タフなディフェンス力を発揮してトヨタ紡織 サンシャインラビッツを下した富士通、前年の覇者らしく東京羽田を38点差で一蹴したデンソーアイリス、シャンソン化粧品 シャンソンVマジックとの接戦をしのいだアイシン、そしてENEOSサンフラワーズのベスト4連続進出記録を48大会で止めたトヨタ自動車 アンテロープスが勝ち上がった。前シーズンのWリーグファイナルと同カードとなった富士通vsデンソーのセミファイナルは59-56で富士通に軍配。ベスト4初進出のアイシンと、クォーターファイナルでENEOSの分厚い壁を打ち破ったトヨタ自動車の一戦は、これもロースコアの激戦をアイシンが58-56でしのいだ。

実績・経験面では富士通に分があったファイナル。しかしアイシンは、

移籍初年度のベテラン渡嘉敷来夢が試合開始早々からゴール下のパワープレーや3ポイントシュートでチームをけん引。若手の野口さくらもはつらつとしたプレーを見せ、第1クォーター終了時点で18-15とリード。アイシンは第2クォーターに入っても渡嘉敷や野口が得点力を発揮。流れを渡さず38-29とリードを広げて後半を迎えた。

しかし第3クォーターに入ると、強度を高めた富士通のディフェンスにアイシンの勢いが鈍る。前半15得点の渡嘉敷はこのクォーター4得点のみ。インサイドの要を失速させた富士通は後半の失点をわずか17にとどめ、主導権を奪い勝ち切った。富士通はオフェンスでも、渡嘉敷に対抗するように前半14得点を挙げた宮澤が最終的に21得点まで数字を伸ばし、前半2得点だったジョシュア・ンフォン・ノボンテミトベも終わってみれば13得点。内尾聡菜は10得点に加えゲームハイの12リバウンドで、宮澤 (11リバウンド) とともにダブルダブルを記録した。

試合後、富士通のBTテプスHCは「苦しい戦いとなりましたが、選手たちがディフェンスで我慢し続けてくれました」とチームをねぎらい勝利を喜んだ。大会MVPに輝いたキャプテンの宮澤は、「この大会を通してディフェンスで我慢できたと思っています」「(前半)守るべきところを守れなかったところは今後の課題だと思いますが、後半はそこを修正してアジャストできたのはこのチームの強みだと思いました」と堅守に自信を見せた。

後半の7アシストを含むゲームハイの9アシストと本領を発揮したプレーメーカーの町田瑠唯は、「皇后杯優勝を目標にまずは取り組んできたので、それが達成できて良かった」と、ほっとした様子。ベスト5にも輝く活躍だったが、「Wリーグがないこの期間で、もう一度チームとしてレベルアップして後半戦に臨んでいけるようにしたいです」と先を見据え早くも意欲を高めていた。なお、宮澤と町田のほか、ベスト5には富士通の内尾、アイシンの渡嘉敷と野口が選出された。



2024年度 第91回皇后杯 ファイナルラウンド全試合結果

12月11日(水) [準々決勝]

チーム名	スコア				
	1st	2nd	3rd	4th	Total
トヨタ紡織 サンシャインラビッツ	13	16	16	11	56
富士通 レッドウェーブ	16	14	21	18	69

デンソー アイリス	34	18	19	18	89
東京羽田ヴィッキーズ	11	16	9	15	51

12月12日(木) [準々決勝]

チーム名	スコア				
	1st	2nd	3rd	4th	Total
アイシン ウィングス	20	19	14	7	60
シャンソン化粧品 シャンソンVマジック	13	17	15	11	56

ENEOSサンフラワーズ	12	22	10	18	62
トヨタ自動車 アンテロープス	19	21	9	24	73

12月14日(土) [準決勝]

チーム名	スコア				
	1st	2nd	3rd	4th	Total
富士通 レッドウェーブ	16	15	14	14	59
デンソー アイリス	14	12	17	13	56

アイシン ウィングス	21	11	14	12	58
トヨタ自動車 アンテロープス	16	17	10	13	56

12月15日(日) [決勝]

チーム名	スコア				
	1st	2nd	3rd	4th	Total
富士通 レッドウェーブ	15	14	14	22	65
アイシン ウィングス	18	20	9	8	55

決勝個人記録

○ 富士通 レッドウェーブ 65 $\begin{pmatrix} 15 & - & 18 \\ 14 & - & 20 \\ 14 & - & 9 \\ 22 & - & 8 \end{pmatrix}$ 55 アイシン ウィングス ●

富士通 レッドウェーブ

No	S	選手名	PTS	3P FG			2P FG			FT	F	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A			OR	DR	TOT					
2		林 真帆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
7		林 咲希	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
8	*	ジョシュア・フォン・ボンデミトベ	13	0	0	4	10	5	8	2	3	5	8	0	1	2	0	-	29:42
9	*	赤木 里帆	4	0	2	2	6	0	0	2	0	1	1	0	2	1	0	-	19:45
10	*	町田 瑠唯	5	1	2	1	4	0	0	0	2	0	2	3	9	2	0	-	37:42
12		奥 伊吹	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
13		安江 沙碧梨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
17		山下 詩織	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
18		藤本 愛妃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
25	*	内尾 聡葉	10	2	5	1	3	2	2	1	4	8	12	0	1	1	0	-	33:45
27		江良 萌香	9	3	8	0	3	0	0	2	1	2	3	0	1	2	0	-	28:23
45		伊森 可琳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
52	*	宮澤 夕貴	21	3	9	3	9	6	6	0	2	9	11	2	1	2	2	-	34:14
81		宮下 希保	3	1	4	0	0	0	0	0	2	1	3	0	4	0	0	-	16:29
HC / TEAM			0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	2	-	-	-	-	-
合計			65	10	30	11	35	13	16	7	17	27	44	7	19	10	2	-	200:00
				33.3%		31.4%		81.3%											

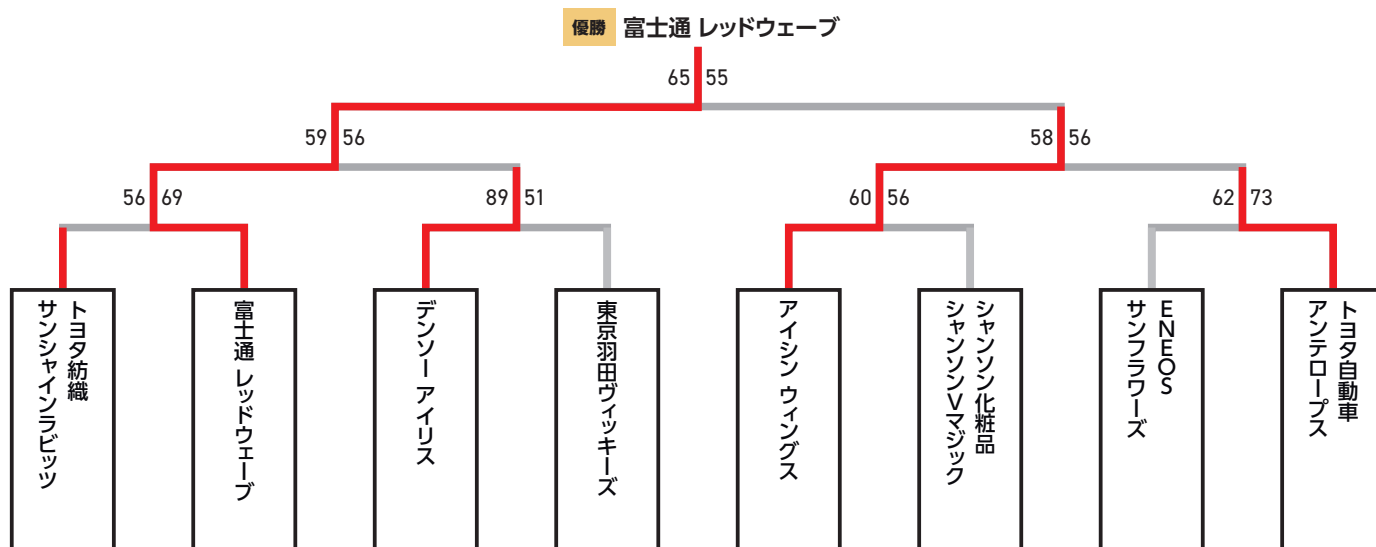
アイシン ウィングス

No	S	選手名	PTS	3P FG			2P FG			FT	F	REBOUNDS			TO	AS	ST	BS	MIN
				M	A	M	A	M	A			OR	DR	TOT					
1	*	渡嘉敷 来夢	21	1	1	9	16	0	0	2	1	9	10	4	3	1	0	-	38:48
2	*	岡本 彩也花	4	1	4	0	4	1	2	0	0	0	6	2	7	2	0	-	31:03
5		坂本 雅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
7		サンバ アストゥ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
10	*	野口 さくら	14	2	5	4	5	0	0	2	0	1	1	2	2	1	1	-	40:00
11		森口 朱音	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
12	*	吉田 亜沙美	3	1	2	0	1	0	0	1	2	2	4	1	0	0	0	-	20:55
13		平末 明日香	2	0	3	0	0	2	2	3	0	0	0	0	0	0	0	-	8:57
14		近藤 京	5	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	-	10:16
20	*	山口 奈々花	6	2	7	0	1	0	0	3	2	3	5	1	0	0	1	-	30:56
33		大鋳 真央	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	DNP
55		酒井 彩等	0	0	0	0	4	0	0	1	1	2	3	3	4	0	0	-	19:05
HC / TEAM			0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	1	-	-	-	-	-
合計			55	8	23	14	32	3	4	13	7	27	34	15	16	4	2	-	200:00
				34.8%		43.8%		75%											

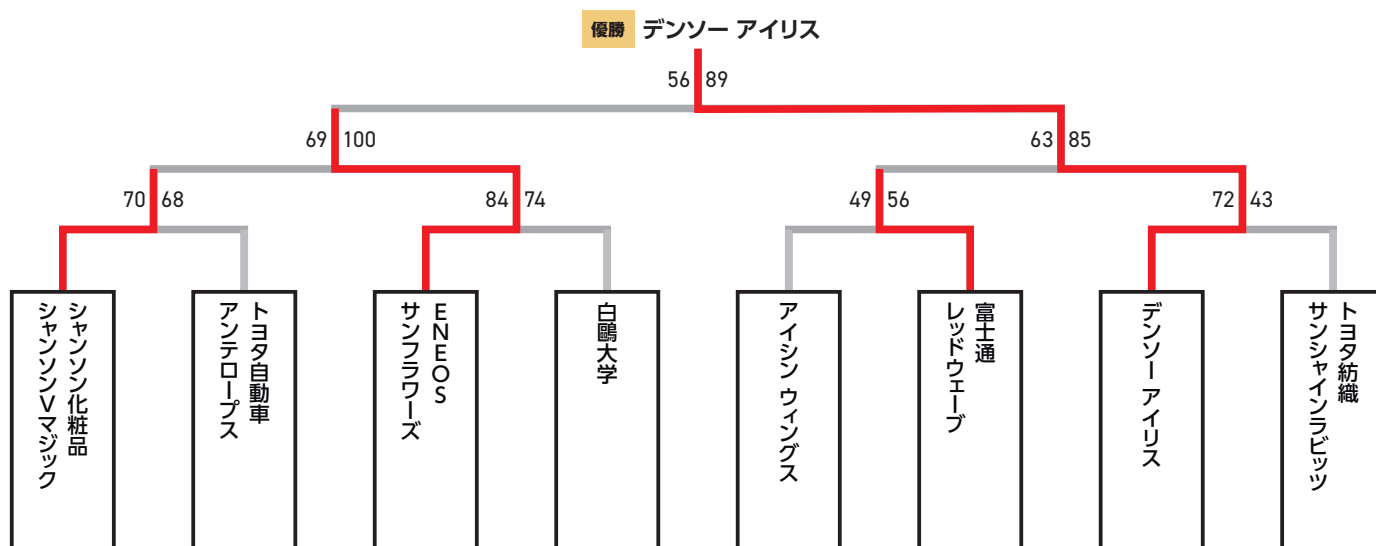
No: 背番号、S: スターター、PTS: 総得点、FG: フィールドゴール、M: 成功数、A: 試投数、%: シュート率、3P: 3ポイントシュート、2P: 2ポイントシュート、FT: フリースロー、F: ファウル、OR: オフェンス・リバウンド、DR: ディフェンス・リバウンド、TOT: リバウンド合計、TO: ターンオーバー、AS: アシスト、ST: スティール、BS: ブロックショット、MIN: 出場時間

■ 過去大会の記録

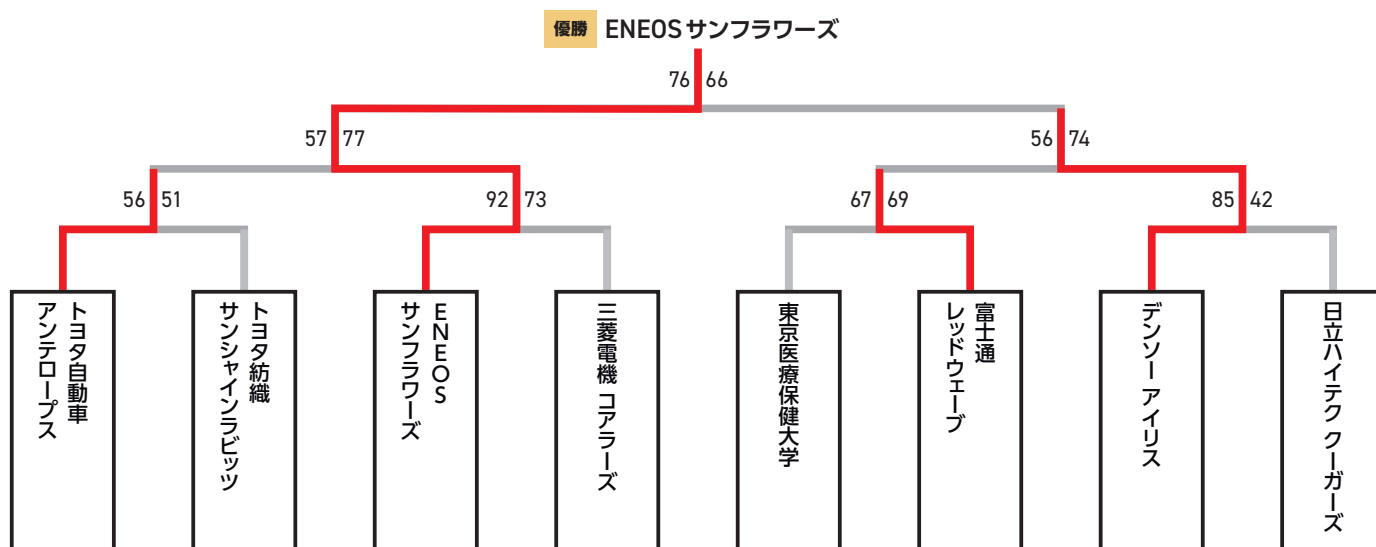
2024年度 第91回皇后杯 全日本総合バスケットボール大会(ファイナルラウンド)



2023年度 第90回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会(ファイナルラウンド)

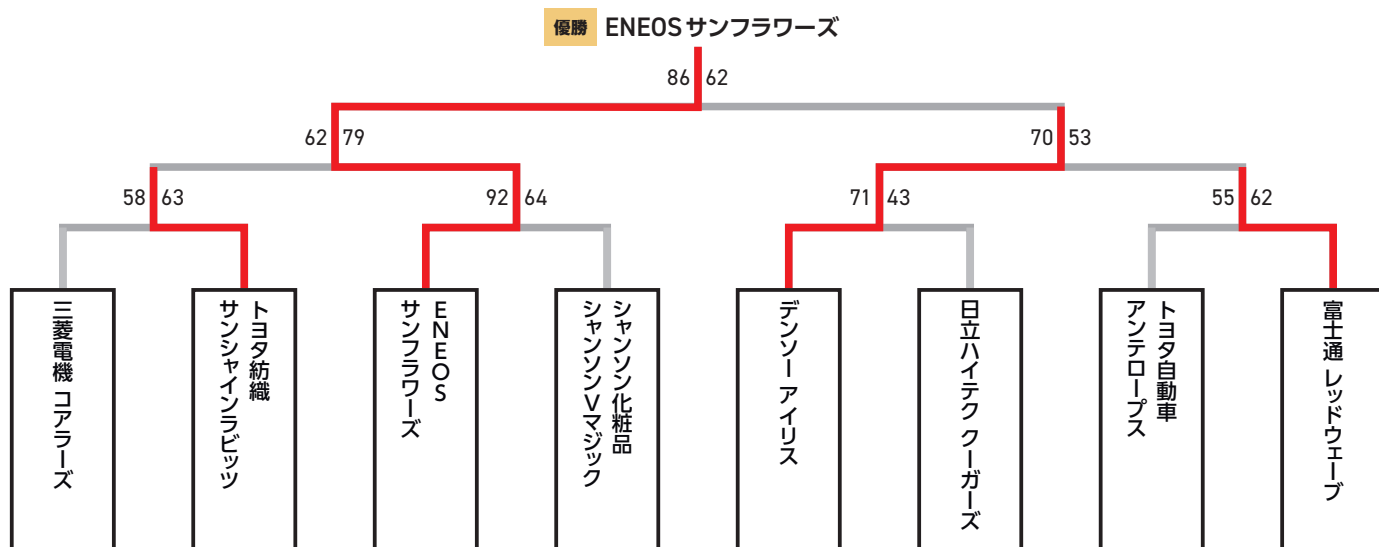


2022年度 第89回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会(ファイナルラウンド)

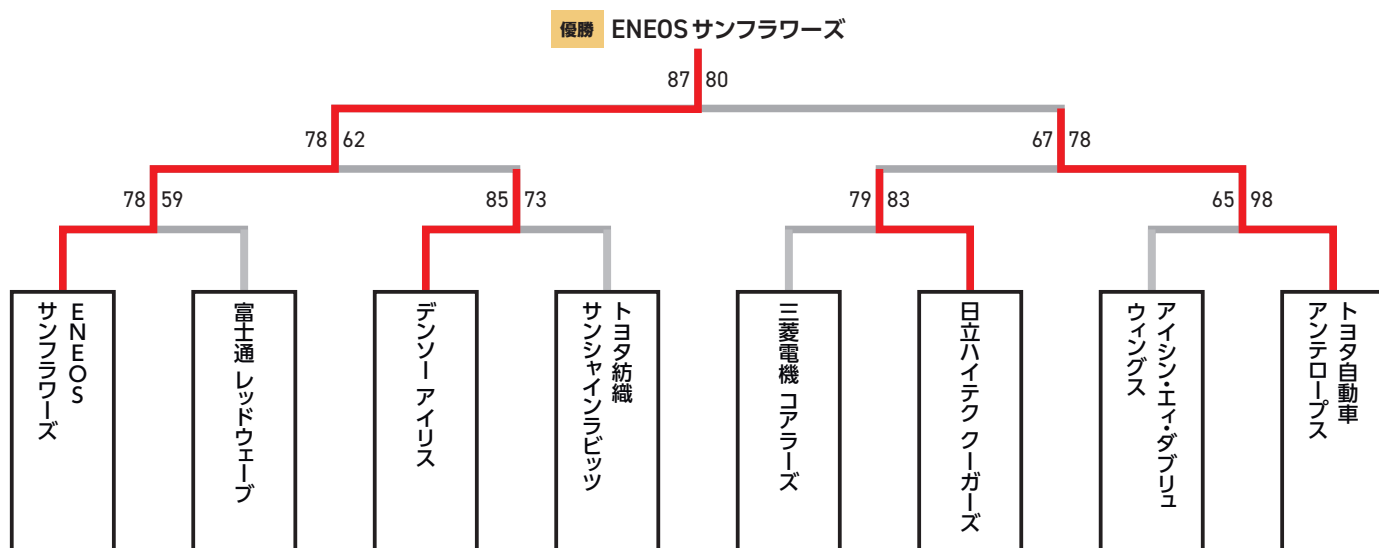


■ 過去大会の記録

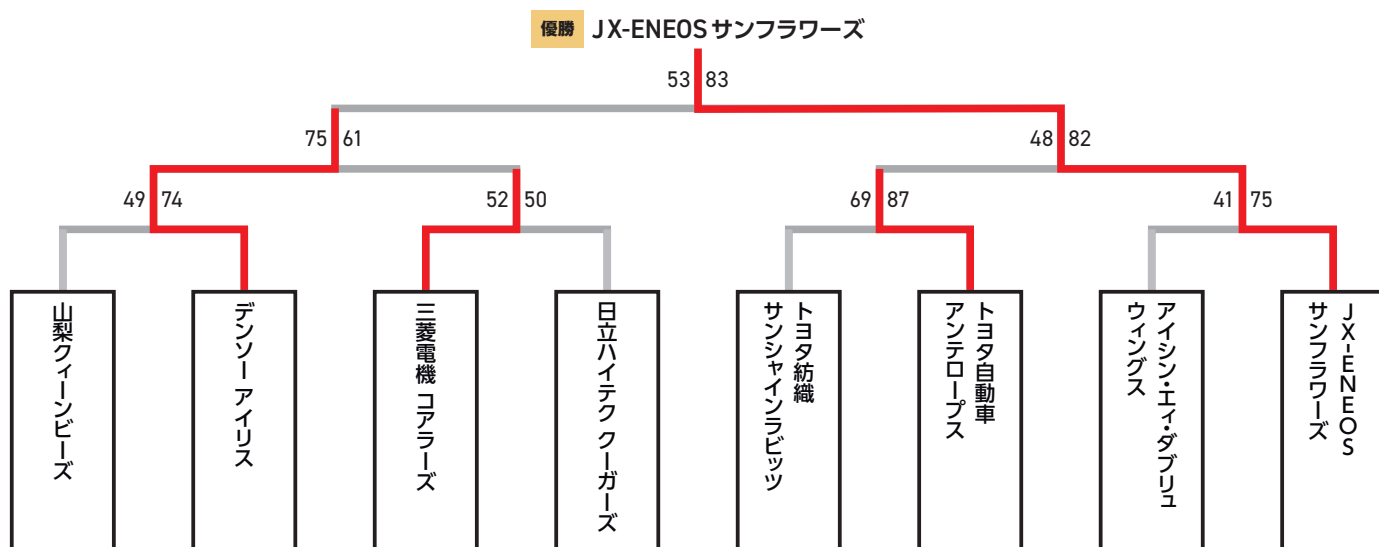
2021年度 第88回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会(ファイナルラウンド)



2020年度 第87回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会(ファイナルラウンド)



2019年度 第86回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会(ファイナルラウンド)



■ 大会ベスト5

第91回大会MVP&ベスト5

町田 瑠唯

富士通 レッドウェーブ #10
6大会ぶり2回目



内尾 聡菜

富士通 レッドウェーブ #25
初受賞



宮澤 夕貴

富士通 レッドウェーブ #52
共同通信社MVP
4大会ぶり4回目
大会ベスト5
4大会ぶり6回目



渡嘉敷 来夢

アイシン ウィングス #1
4大会連続14回目



野口 さくら

アイシン ウィングス #10
初受賞



大会実施委員会 個人賞選考委員会選出／★=共同通信社 MVP

回	年度	受賞者名(チーム名) ○内の数字は選出回数				
91	令和6年度2024年12月	町田 瑠唯(富士通)②	内尾 聡菜(富士通)①	宮澤 夕貴(富士通)⑥／★④	渡嘉敷 来夢(アイシン)⑭	野口 さくら(アイシン)①
90	令和5年度2023年12月	馬瓜エブリン(デンソー)③	高田 真希(デンソー)⑦／★①	木村 亜美(デンソー)①	赤穂 ひまわり(デンソー)④	渡嘉敷 来夢(ENEOS)⑬
89	令和4年度2022年12月	林 咲希(ENEOS)②	渡嘉敷 来夢(ENEOS)⑫／★②	星 杏璃(ENEOS)①	赤穂 さくら(デンソー)②	赤穂 ひまわり(デンソー)③
88	令和3年度2021年12月	林 咲希(ENEOS)①／★①	渡嘉敷 来夢(ENEOS)⑪	岡本 彩也花(ENEOS)②	高田 真希(デンソー)⑥	赤穂 ひまわり(デンソー)②
87	令和2年度2020年12月	宮崎 早織(ENEOS)①	宮澤 夕貴(ENEOS)⑤／★③	馬瓜 エブリン(トヨタ自動車)②	安間 志織(トヨタ自動車)①	谷村 里佳(日立ハイテク)①
86	令和元年度2020年1月	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑩／★①	宮澤 夕貴(JX-ENEOS)④	高田真希(デンソー)⑤	赤穂ひまわり(デンソー)①	渡邉亜弥(三菱電機)①
85	平成30年度2019年1月	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑨	宮澤 夕貴(JX-ENEOS)③／★②	馬瓜 エブリン(トヨタ自動車)①	長岡 萌映子(トヨタ自動車)④	町田 瑠唯(富士通)①
84	平成29年度2018年1月	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑧	大崎 佑圭(JX-ENEOS)③	宮澤 夕貴(JX-ENEOS)②／★①	高田 真希(デンソー)④	赤穂 さくら(デンソー)①
83	平成28年度2017年1月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑦	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑦	宮澤 夕貴(JX-ENEOS)①	長岡 萌映子(富士通)③	本川 紗奈生(シャソン化粧品)①
82	平成27年度2016年1月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑥	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑥	岡本 彩也花(JX-ENEOS)①	間宮 佑圭(JX-ENEOS)②	高田 真希(デンソー)③
81	平成26年度2015年1月	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑤	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑤	高田 真希(デンソー)②	伊集 南(デンソー)①	長岡 萌映子(富士通)②
80	平成25年度2014年1月	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)④	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)④	間宮 佑圭(JX-ENEOS)①	川原 麻耶(トヨタ自動車)②	森 ムチャ(トヨタ自動車)①
79	平成24年度2013年1月	川原 麻耶(トヨタ自動車)①	矢野 良子(トヨタ自動車)⑥	池田 麻美(トヨタ自動車)②	渡嘉敷 来夢(JX)③	長岡 萌映子(富士通)①
78	平成23年度2012年1月	大神 雄子(JX)⑧	渡嘉敷 来夢(JX)②	吉田 亜沙美(JX)③	高田 真希(デンソー)①	矢野 良子(トヨタ自動車)⑤
77	平成22年度2011年1月	大神 雄子(JX)⑦	渡嘉敷 来夢(JX)①	吉田 亜沙美(JX)②	篠原 恵(富士通)①	名木 洋子(富士通)①
76	平成21年度2010年1月	大神 雄子(JOMO)⑥	吉田 亜沙美(JOMO)①	諏訪 裕美(JOMO)①	櫻田 佳恵(トヨタ自動車)①	久手堅 笑美(トヨタ自動車)①
75	平成20年度2009年1月	大神 雄子(JOMO)⑤	田中 利佳(JOMO)①	三谷 藍(富士通)②	矢野 良子(富士通)④	石川 幸子(シャソン化粧品)①
74	平成19年度2008年1月	船引 かおり(富士通)①	矢野 良子(富士通)③	大神 雄子(JOMO)④	相澤 優子(シャソン化粧品)②	榊原 紀子(トヨタ自動車)②
73	平成18年度2007年1月	船引 まゆみ(富士通)①	矢野 良子(富士通)②	永田 睦子(シャソン化粧品)⑩	大神 雄子(JOMO)③	榊原 紀子(トヨタ自動車)①
72	平成17年度2006年1月	三谷 藍(富士通)①	矢野 良子(富士通)①	永田 睦子(シャソン化粧品)⑨	大神 雄子(JOMO)②	矢代 直美(日本航空)③
71	平成16年度2005年1月	数内 夏美(日本航空)②	矢代 直美(日本航空)②	永田 睦子(シャソン化粧品)⑧	大神 雄子(JOMO)①	池田 麻美(トヨタ自動車)①
70	平成15年度2004年1月	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑨	大山 妙子(ジャパンエナジー)⑥	川畑 宏美(ジャパンエナジー)②	相澤 優子(富士通)①	永田 睦子(シャソン化粧品)⑦
69	平成14年度2003年1月	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑧	川畑 宏美(ジャパンエナジー)①	永田 睦子(シャソン化粧品)⑥	数内 夏美(日本航空)①	矢野 優子(トヨタ自動車)①
68	平成13年度2002年1月	川上 香穂里(ジャパンエナジー)①	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑦	永田 睦子(シャソン化粧品)⑤	江口 真由美(デンソー)①	矢代 直美(日本航空)①
67	平成12年度2001年1月	桜庭 珠美(ジャパンエナジー)①	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑥	永田 睦子(シャソン化粧品)④	堀部 涼子(日本航空)①	古賀 京子(三菱電機)①
66	平成11年度2000年1月	三木 聖美(シャソン化粧品)①	加藤 貴子(シャソン化粧品)⑤	永田 睦子(シャソン化粧品)③	大山 妙子(ジャパンエナジー)⑤	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑤
65	平成10年度1999年1月	濱口 典子(ジャパンエナジー)④	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)⑥	大山 妙子(ジャパンエナジー)④	村上 睦子(シャソン化粧品)⑥	永田 睦子(シャソン化粧品)②
64	平成9年度1998年1月	濱口 典子(ジャパンエナジー)③	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)⑤	大山 妙子(ジャパンエナジー)③	加藤 貴子(シャソン化粧品)④	村上 睦子(シャソン化粧品)⑤
63	平成8年度1997年1月	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)④	川崎 真由美(ジャパンエナジー)①	濱口 典子(ジャパンエナジー)②	村上 睦子(シャソン化粧品)④	永田 睦子(シャソン化粧品)①
62	平成7年度1996年1月	一乗 アキ(シャソン化粧品)③	加藤 貴子(シャソン化粧品)③	山田 かがり(シャソン化粧品)①	村上 睦子(シャソン化粧品)③	濱口 典子(ジャパンエナジー)①
61	平成6年度1995年1月	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)③	原田 裕花(ジャパンエナジー)①	大山 妙子(ジャパンエナジー)②	一乗 アキ(シャソン化粧品)②	加藤 貴子(シャソン化粧品)②
60	平成5年度1994年1月	柿崎 宏江(シャソン化粧品)①	加藤 貴子(シャソン化粧品)①	村上 睦子(シャソン化粧品)②	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)②	大山 妙子(ジャパンエナジー)①
59	平成4年度1993年1月	一乗 アキ(シャソン化粧品)①	タミー・ジャクソン(シャソン化粧品)①	村上 睦子(シャソン化粧品)①	萩原 美樹子(日鉱共石)①	クラレッサ・デービス(日鉱共石)①

※平成3(1991)年度(大会は1992年1月)までは東京運動記者クラブバスケットボール分科会選考による「年間ベスト5」のみ表彰していたが、「年間ベスト5」の表彰がシーズン終了時に移行したため、新たに「全日本総合バスケットボール選手権大会ベスト5」を平成4(1992)年度(大会は1993年1月)から設けた。

■ 年次記録

回	年	開催地	1位	2位	3位	4位
91	令和6年度 2024年12月	東京	富士通	アイシン	デンソー	トヨタ自動車
90	令和5年度 2023年12月	東京	デンソー	ENEOS	シャンソン	富士通
89	令和4年度 2022年12月	東京	ENEOS	デンソー	トヨタ自動車	富士通
88	令和3年度 2021年12月	東京	ENEOS	デンソー	トヨタ紡織	富士通
87	令和2年度 2020年12月	東京	ENEOS	トヨタ自動車	デンソー	日立ハイテック
86	令和元年度 2020年1月	埼玉	JX-ENEOS	デンソー	三菱電機	トヨタ自動車
85	平成30年度 2019年1月	埼玉	JX-ENEOS	トヨタ自動車	デンソー	富士通
84	平成29年度 2018年1月	埼玉	JX-ENEOS	デンソー	トヨタ自動車	富士通
83	平成28年度 2017年1月	東京	JX-ENEOS	富士通	トヨタ自動車	シャンソン化粧品
82	平成27年度 2016年1月	東京	JX-ENEOS	デンソー	シャンソン化粧品	富士通
81	平成26年度 2015年1月	東京	JX-ENEOS	デンソー	富士通	トヨタ自動車
80	平成25年度 2014年1月	東京	JX-ENEOS	トヨタ自動車	三菱電機	富士通
79	平成24年度 2013年1月	東京	トヨタ自動車	JX	富士通	シャンソン化粧品
78	平成23年度 2012年1月	東京	JX	デンソー	シャンソン化粧品	トヨタ自動車
77	平成22年度 2011年1月	東京	JX	富士通	デンソー	トヨタ自動車
76	平成21年度 2010年1月	東京	JOMO	トヨタ自動車	富士通	日本航空
75	平成20年度 2009年1月	東京	JOMO	富士通	トヨタ自動車	シャンソン化粧品
74	平成19年度 2008年1月	東京	富士通	JOMO	シャンソン化粧品	トヨタ自動車
73	平成18年度 2007年1月	東京	富士通	シャンソン化粧品	JOMO	トヨタ自動車
72	平成17年度 2006年1月	東京	富士通	シャンソン化粧品	日本航空	JOMO
71	平成16年度 2005年1月	東京	日本航空	シャンソン化粧品	JOMO	トヨタ自動車
70	平成15年度 2004年1月	東京	ジャパンエナジー	富士通	シャンソン化粧品	トヨタ自動車
69	平成14年度 2003年1月	東京	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	日本航空	トヨタ自動車
68	平成13年度 2002年1月	東京	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	日本航空	デンソー
67	平成12年度 2001年1月	東京	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	三菱電機	日本航空
66	平成11年度 2000年1月	東京	シャンソン化粧品	ジャパンエナジー	トヨタ自動車	デンソー
65	平成10年度 1999年1月	東京	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	デンソー	日本体育大学
64	平成9年度 1998年1月	東京	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	第一勧業銀行	ユニチカ
63	平成8年度 1997年1月	東京	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	デンソー	東芝
62	平成7年度 1996年1月	東京	シャンソン化粧品	ジャパンエナジー	積水化学	三菱電機
61	平成6年度 1995年1月	千葉	ジャパンエナジー	シャンソン化粧品	第一勧業銀行	愛知学泉大学
60	平成5年度 1994年1月	東京	シャンソン化粧品	ジャパンエナジー	愛知学泉大学	第一勧業銀行
59	平成4年度 1993年1月	東京	シャンソン化粧品	日鉱共石	三洋電機	東芝
58	平成3年度 1992年1月	東京	シャンソン化粧品	共同石油	日本航空	三洋電機
57	平成2年度 1991年1月	東京	シャンソン化粧品	共同石油	日立戸塚	三菱電機
56	平成元年度 1990年1月	東京	共同石油	シャンソン化粧品	日本電気	第一勧業銀行
55	昭和63年度 1989年1月	東京	東芝	共同石油	シャンソン化粧品	日本通運
54	昭和62年度 1988年1月	東京	共同石油	東芝	日本電気	日本通運
53	昭和61年度 1987年3月	東京	シャンソン化粧品	東芝	共同石油	日立戸塚
52	昭和60年度 1986年3月	東京	シャンソン化粧品	東芝	日立戸塚	共同石油
51	昭和59年度 1985年3月	東京	シャンソン化粧品	共同石油	東芝	日本体育大学
50	昭和58年度 1984年1月	東京	シャンソン化粧品	東芝	共同石油	日立戸塚
49	昭和57年度 1983年1月	東京	共同石油	シャンソン化粧品	ユニチカ	東芝
48	昭和56年度 1982年1月	東京	共同石油	シャンソン化粧品	第一勧業銀行	ユニチカ
47	昭和55年度 1981年1月	東京	第一勧業銀行	日立戸塚	シャンソン化粧品	共同石油
46	昭和54年度 1980年1月	東京	ユニチカ	共同石油	第一勧業銀行	シャンソン化粧品
45	昭和53年度 1979年1月	東京	共同石油	ユニチカ	第一勧業銀行	シャンソン化粧品
44	昭和52年度 1978年1月	東京	ユニチカ	三菱電機名古屋	シャンソン化粧品	共同石油

回	年	開催地	1位	2位	3位	4位
43	昭和51年度 1977年1月	東京	日立戸塚	ユニチカ山崎	日立甲府	共同石油
42	昭和50年度 1976年1月	東京	日立戸塚	ユニチカ山崎	第一勧業銀行	日本体育大学
41	昭和49年度 1975年1月	神戸	ユニチカ山崎	第一勧業銀行	日立戸塚	三菱電機名古屋
40	昭和48年度 1974年1月	東京	第一勧業銀行	ユニチカ山崎	日本体育大学	ユニチカ宇治
39	昭和47年度 1973年1月	東京	第一勧業銀行	ユニチカ山崎	日立戸塚	ユニチカ宇治
38	昭和46年度 1972年1月	東京	ユニチカ山崎	第一勧業銀行	ユニチカ宇治	日本女子体育大学
37	昭和45年度 1971年1月	東京	ユニチカ山崎	日本勧業銀行	三菱電機名古屋	ユニチカ宇治
36	昭和44年度 1970年1月	東京	ユニチカ山崎	ユニチカ宇治	日本勧業銀行	三菱電機名古屋
35	昭和43年度 1969年1月	東京	ニチボー平野	日本勧業銀行	日本体育大学	日本レイヨン
34	昭和42年度 1968年1月	東京	ニチボー平野	日本レイヨン	日本興業銀行	日本勧業銀行
33	昭和41年度 1967年1月	東京	ニチボー平野	日本興業銀行	日本体育大学	日本レイヨン
32	昭和40年度 1966年1月	東京	ニチボー平野	三菱電機名古屋	日本興業銀行	安城学園短期大学
31	昭和39年度 1965年1月	東京	ニチボー平野	三菱電機名古屋	日本レイヨン	東洋レイヨン瀬田
30	昭和38年度 1964年1月	東京	三菱電機名古屋	大日本紡績平野	日本レイヨン	日本通運
29	昭和37年度 1963年1月	東京	大日本紡績平野	三菱電機名古屋	日本通運	日本興業銀行
28	昭和36年度 1962年1月	東京	大日本紡績平野	東京芝浦電気	日本興業銀行	東洋レイヨン瀬田
27	昭和35年度 1961年1月	東京	日本興業銀行	大日本紡績平野	三井生命	三菱電機名古屋
26	昭和34年度 1960年1月	東京	大日本紡績平野	日本興業銀行	三井生命	日本レイヨン宇治
25	昭和33年度 1959年1月	東京	東京芝浦電気	大日本紡績平野	日本興業銀行	三井生命
24	昭和32年度 1958年1月	東京	大日本紡績平野	三井生命	日本興業銀行	東京芝浦電気
23	昭和31年度 1957年1月	東京	日本興業銀行	北芝電機	三井生命	東京芝浦電気
22	昭和30年度 1956年1月	東京	三井生命	北芝電機	浦和第一高女	日本興業銀行
21	昭和29年度 1955年1月	東京	東京芝浦電気	三井生命	北芝クラブ	染谷が丘女高ク
20	昭和28年度 1954年1月	東京	日本興業銀行	就実高	平沼高	染谷が丘女高ク
19	昭和27年度 1953年1月	東京	染谷が丘女高ク	日本興業銀行	大日本紡績大阪	全三井生命
18	昭和26年度 1952年1月	東京	染谷が丘女高ク	お茶の水女大附高	栃木女子高	大日本紡績大阪
17	昭和25年度 1951年1月	神戸	染谷が丘女高ク	栃木女子高	西大寺クラブ	函館女高クラブ
16	昭和24年度 1950年1月	東京	浦和第一高女	函館女高クラブ	東京女高師附女	福島橋倶楽部
15	昭和23年度 1948年12月	新潟	福島橋倶楽部	木更津倶楽部	翠会	岡谷東高
14	昭和22年度 1947年12月	東京	木更津倶楽部	鉄興社	京都クラブ	福島橋倶楽部
13	昭和21年度 1947年1月	東京	福島橋倶楽部	静岡精華	滝野川高女ク	木更津高女俱
	昭和20年度 1946年	(中止)				
	昭和19年度 1945年	(中止)				
	昭和18年度 1944年	(中止)				
12	昭和17年度 1943年1月	東京	東京女高師附女	滝野川高女	静岡精華	簡易保険局
	昭和16年度 1942年	(中止)				
11	昭和15年度 1941年1月	東京	東京女高師附女	新潟高女	滝野川高女	福島高女
10	昭和14年度 1940年1月	東京	新潟高女	東京女高師附女	愛知第二高女	京都府第一高女
9	昭和13年度 1939年1月	東京	京都府第一高女	山陽高女	山形嚶鳴俱	新潟高女
8	昭和12年度 1938年1月	東京	簡易保険局	新潟高女	静岡精華	愛知第二高女
7	昭和11年度 1937年1月	東京	京都府二女	山陽高女	新潟高女	金沢第一高女
6	昭和10年度 1936年1月	東京	新津高女俱	木更津高女俱	静岡精華	愛知淑徳高女
5	昭和9年度 1935年1月	東京	木更津高女俱	京都府第二高女	山形嚶鳴俱	新津高女俱
4	昭和8年度 1934年1月	東京	山形嚶鳴俱	新潟高女	木更津高女	京都府第二高女
3	昭和7年度 1933年1月	東京	木更津高女	静岡精華	名古屋市立一女	三糸高女
2	昭和6年度 1932年1月	東京	愛知淑徳高女	竹早クラブ	木更津高女	大館女職
1	昭和5年度 1931年2月	東京	愛知淑徳高女	アルモンド	竜ヶ崎高女	木更津高女

Wリーグプレミア2024-25 プレーオフMVP&ベスト5



町田 瑠唯

(富士通 #10)

プレーオフMVP/初受賞

プレーオフベスト5/2年連続3回目



赤木 里帆

(富士通 #9)

初受賞



宮澤 夕貴

(富士通 #52)

2年連続3回目



馬瓜 エブリン

(デンソー #0)

2年連続3回目



高田 真希

(デンソー #8)

初受賞

東京運動記者クラブ バスケットボール分科会選出

年度	Wリーグプレーオフベスト5受賞者名(チーム名) ○内の数字は選出回数を表す				
2024-25	町田 瑠唯(富士通)③	赤木 里帆(富士通)①	宮澤 夕貴(富士通)③	馬瓜 エブリン(デンソー)③	高田 真希(デンソー)①
2023-24	ジョシュアン・フォン・ボン・デ・ミトベ(富士通)①	町田 瑠唯(富士通)②	宮澤 夕貴(富士通)②	馬瓜 エブリン(デンソー)②	赤穂 ひまわり(デンソー)①
2022-23	長岡 萌映子(ENEOS)②	渡嘉敷 来夢(ENEOS)②	宮崎 早織(ENEOS)②	馬瓜 ステファニー(トヨタ自動車)②	山本 麻衣(トヨタ自動車)②
2021-22	山本 麻衣(トヨタ自動車)①	シラ・ソハナ・ファトー・ジャ(トヨタ自動車)①	馬瓜 ステファニー(トヨタ自動車)①	町田 瑠唯(富士通)①	篠崎 滯(富士通)①
2020-21	馬瓜 エブリン(トヨタ自動車)①	長岡 萌映子(トヨタ自動車)①	安間 志織(トヨタ自動車)①	岡本 彩也花(ENEOS)②	宮崎 早織(ENEOS)①
2018-19	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)①	岡本 彩也花(JX-ENEOS)①	宮澤 夕貴(JX-ENEOS)①	根本 葉瑠乃(三菱電機)①	渡邊 亜弥(三菱電機)①

■ 年間ベスト5

東京運動記者クラブ バスケットボール分科会選出

年度	受賞者名(チーム名) ○内の数字は選出回数を表す				
平成29年度2018年3月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑨	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑦	宮澤 夕貴(JX-ENEOS)①	高田 真希(デンソー)⑦	馬瓜 エブリン(トヨタ自動車)①
平成28年度2017年3月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑧	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑥	間宮 佑圭(JX-ENEOS)⑥	栗原 三佳(トヨタ自動車)①	高田 真希(デンソー)⑥
平成27年度2016年3月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑦	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)⑤	間宮 佑圭(JX-ENEOS)⑤	町田 瑠唯(富士通)②	高田 真希(デンソー)⑤
平成26年度2015年4月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑥	間宮 佑圭(JX-ENEOS)④	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)④	町田 瑠唯(富士通)①	高田 真希(デンソー)④
平成25年度2014年4月	吉田 亜沙美(JX-ENEOS)⑤	間宮 佑圭(JX-ENEOS)③	渡嘉敷 来夢(JX-ENEOS)③	高田 真希(デンソー)③	久手堅 笑美(トヨタ自動車)②
平成24年度2013年3月	大神 雄子(JX)⑦	渡嘉敷 来夢(JX)②	吉田 亜沙美(JX)④	間宮 佑圭(JX)②	久手堅 笑美(トヨタ自動車)①
平成23年度2012年3月	大神 雄子(JX)⑥	吉田 亜沙美(JX)③	間宮 佑圭(JX)①	川原 麻耶(トヨタ自動車)①	高田 真希(デンソー)②
平成22年度2011年6月	大神 雄子(JX)⑤	吉田 亜沙美(JX)②	岩村 裕美(日本航空)②	渡嘉敷 来夢(JX)①	高田 真希(デンソー)①
平成21年度2010年3月	大神 雄子(JOMO)④	諏訪 裕美(JOMO)①	吉田 亜沙美(JOMO)①	矢野 良子(トヨタ自動車)⑦	池田 麻美(トヨタ自動車)①
平成20年度2009年3月	大神 雄子(JOMO)③	山田 久美子(JOMO)②	田中 利佳(JOMO)②	相澤 優子(シャソン化粧品)④	矢野 良子(富士通)⑥
平成19年度2008年3月	矢野 良子(富士通)⑤	三谷 藍(富士通)②	船引 かおり(富士通)①	大神 雄子(JOMO)②	田中 利佳(JOMO)①
平成18年度2007年3月	大神 雄子(JOMO)①	山田 久美子(JOMO)①	矢野 良子(富士通)④	三谷 藍(富士通)①	永田 睦子(シャソン化粧品)⑪
平成17年度2006年3月	永田 睦子(シャソン化粧品)⑩	相澤 優子(シャソン化粧品)③	矢代 直美(日本航空)②	岩村 裕美(日本航空)①	矢野 良子(富士通)③
平成16年度2005年3月	永田 睦子(シャソン化粧品)⑨	相澤 優子(シャソン化粧品)②	河 恩珠(シャソン化粧品)①	数内 夏美(日本航空)③	矢代 直美(日本航空)①
平成15年度2004年3月	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑨	矢野 良子(ジャパンエナジー)②	永田 睦子(シャソン化粧品)⑧	数内 夏美(日本航空)②	相澤 優子(富士通)①
平成14年度2003年3月	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑧	大山 妙子(ジャパンエナジー)④	川上 香穂里(ジャパンエナジー)②	永田 睦子(シャソン化粧品)⑦	数内 夏美(日本航空)①
平成13年度2002年3月	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑦	大山 妙子(ジャパンエナジー)③	川上 香穂里(ジャパンエナジー)①	永田 睦子(シャソン化粧品)⑥	岡里 明美(シャソン化粧品)①
平成12年度2001年3月	金 銀暎(三菱電機)①	大山 妙子(ジャパンエナジー)②	矢野 良子(ジャパンエナジー)①	永田 睦子(シャソン化粧品)⑤	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑥
平成11年度2000年3月	永田 睦子(シャソン化粧品)④	加藤 貴子(シャソン化粧品)⑧	三木 聖美(シャソン化粧品)①	濱口 典子(ジャパンエナジー)⑤	大山 妙子(ジャパンエナジー)①
平成10年度1999年3月	濱口 典子(ジャパンエナジー)④	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)⑦	永田 睦子(シャソン化粧品)③	村上 睦子(シャソン化粧品)⑧	加藤 貴子(シャソン化粧品)⑦
平成9年度1998年3月	加藤 貴子(シャソン化粧品)⑥	村上 睦子(シャソン化粧品)⑦	永田 睦子(シャソン化粧品)②	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)⑥	濱口 典子(ジャパンエナジー)③
平成8年度1997年3月	川崎 真由美(ジャパンエナジー)①	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)⑤	濱口 典子(ジャパンエナジー)②	村上 睦子(シャソン化粧品)⑥	永田 睦子(シャソン化粧品)①
平成7年度1996年3月	村上 睦子(シャソン化粧品)⑤	一乗 アキ(シャソン化粧品)④	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)④	加藤 貴子(シャソン化粧品)⑤	濱口 典子(ジャパンエナジー)①
平成6年度1995年3月	村上 睦子(シャソン化粧品)④	原田 裕花(ジャパンエナジー)⑤	加藤 貴子(シャソン化粧品)④	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)③	山田 かがり(シャソン化粧品)①
平成5年度1994年3月	村上 睦子(シャソン化粧品)③	原田 裕花(ジャパンエナジー)④	加藤 貴子(シャソン化粧品)③	萩原 美樹子(ジャパンエナジー)②	一乗 アキ(シャソン化粧品)③
平成4年度1993年3月	一乗 アキ(シャソン化粧品)②	村上 睦子(シャソン化粧品)②	加藤 貴子(シャソン化粧品)②	萩原 美樹子(日鉱共石)①	クラレッサ・デービス(日鉱共石)①
平成3年度1992年1月	村上 睦子(シャソン化粧品)①	一乗 アキ(シャソン化粧品)①	原田 裕花(共同石油)③	二見 由美子(日本航空)②	タミー・ジャフソン(シャソン化粧品)①
平成2年度1991年1月	テレサ・エドワーズ(三菱電機)①	増田 安世(共同石油)①	加藤 貴子(シャソン化粧品)①	黒田 麻由美(日立戸塚)①	原田 裕花(共同石油)②
平成元年度1990年1月	カタリーナ・マックレイン(共同石油)③	原田 五月(共同石油)④	山城 定子(シャソン化粧品)①	原田 裕花(共同石油)①	メディナ・ディクソン(日本電気)①
昭和63年度1989年1月	原田 五月(共同石油)③	佐藤 香代子(東芝)①	シェリー・ベネファースー(日本通運)①	カタリーナ・マックレイン(共同石油)②	シンディ・ブラウン(東芝)①
昭和62年度1988年1月	原田 五月(共同石油)②	カタリーナ・マックレイン(共同石油)①	近石 香緒理(東芝)②	高谷 やす子(シャソン化粧品)③	二見 由美子(筑波大)①
昭和61年度1987年3月	久保田 久美(シャソン化粧品)④	アン・ドノバン(シャソン化粧品)④	高谷 やす子(シャソン化粧品)②	近石 香緒理(東芝)①	竹山 とよ子(共同石油)④
昭和60年度1986年3月	久保田 久美(シャソン化粧品)③	アン・ドノバン(シャソン化粧品)③	高谷 やす子(シャソン化粧品)①	シェイ・テラー(東芝)①	竹山 とよ子(共同石油)③
昭和59年度1985年3月	久保田 久美(シャソン化粧品)②	アン・ドノバン(シャソン化粧品)②	鈴木 弘美(シャソン化粧品)①	熊谷 繁子(共同石油)④	原田 五月(共同石油)①
昭和58年度1984年1月	大山 春美(シャソン化粧品)③	アン・ドノバン(シャソン化粧品)①	久保田 久美(シャソン化粧品)①	シンディ・ノーブル(東芝)①	熊谷 繁子(共同石油)③
昭和57年度1983年1月	阿部 秀子(共同石油)②	熊谷 繁子(共同石油)②	大山 春美(シャソン化粧品)②	積田 洋子(シャソン化粧品)①	大谷 利恵子(ユニチカ)①
昭和56年度1982年1月	竹山 とよ子(共同石油)②	阿部 秀子(共同石油)①	熊谷 繁子(共同石油)①	荒家 晶子(シャソン化粧品)①	大山 春美(シャソン化粧品)①
昭和55年度1981年1月	高橋 節子(第一勧業銀行)①	中川 弘子(第一勧業銀行)①	森下 みゆき(第一勧業銀行)①	鈴木 真理(日立戸塚)①	竹山 とよ子(共同石油)①
昭和54年度1980年1月	鈴木 紀子(共同石油)②	荒木 恵子(共同石油)③	福井 美恵子(ユニチカ)④	佐藤 千恵美(ユニチカ)②	渋川 友子(第一勧業銀行)①
昭和53年度1979年1月	鈴木 紀子(共同石油)①	荒木 恵子(共同石油)②	福井 美恵子(ユニチカ)③	佐藤 千恵美(ユニチカ)①	松岡 美保(ユニチカ)③
昭和52年度1978年1月	松岡 美保(ユニチカ)②	福井 美恵子(ユニチカ)②	竹本 とみ子(三菱電機名古屋)①	荒木 恵子(共同石油)①	清水 京子(第一勧業銀行)①
昭和51年度1977年1月	宮本 輝子(ユニチカ山崎)③	大塚 宮子(日立戸塚)②	林田 和代(日立戸塚)②	福井 美恵子(ユニチカ山崎)①	松岡 美保(ユニチカ山崎)①
昭和50年度1976年1月	大塚 宮子(日立戸塚)①	宮本 輝子(ユニチカ山崎)②	橋本 きみ子(第一勧業銀行)②	林田 和代(日立戸塚)①	青沼 令子(ユニチカ山崎)①
昭和49年度1975年1月	生井 けい子(日本体育大職員)②	脇田代 喜美(ユニチカ山崎)④	宮本 輝子(ユニチカ山崎)①	佐竹美佐子(第一勧業銀行)③	橋本 きみ子(第一勧業銀行)①
昭和48年度1974年1月	羽根川 洋子(第一勧業銀行)②	佐竹 美佐子(第一勧業銀行)②	山本 幸代(ユニチカ山崎)②	脇田代 喜美(ユニチカ山崎)③	生井 けい子(日本体育大4年)①
昭和47年度1973年1月	羽根川 洋子(第一勧業銀行)①	佐竹 美佐子(第一勧業銀行)①	脇田代 喜美(ユニチカ山崎)②	山本 幸代(ユニチカ山崎)①	福島 小百合(日立戸塚)①
昭和45年度1971年1月	黄 蘭子(ユニチカ山崎)③	脇田代 喜美(ユニチカ山崎)①	熊谷 栄子(ユニチカ山崎)①	坪井 妙子(ユニチカ山崎)②	前田 洋子(ユニチカ山崎)②
昭和44年度1970年1月	岩本 栄子(ユニチカ山崎)②	新垣 たけ子(日本勧業銀行)③	黄 蘭子(ユニチカ山崎)②	江守 良子(ユニチカ宇治)②	横山 アサ子(東芝)①
昭和43年度1969年1月	黄 蘭子(ニチボー平野)①	黒田 洋子(日本体育大)①	新垣 たけ子(日本勧業銀行)②	江守 良子(日本レイヨン)①	岩本 栄子(ニチボー平野)①
昭和42年度1968年1月	新垣 たけ子(日本勧業銀行)①	柳 登美子(ニチボー平野)①	前田 洋子(ニチボー平野)①	門脇 裕子(日本レイヨン)①	坪井 妙子(ニチボー平野)①

FIBA女子アジアカップ2025

2025年7月13日～20日／中国・深圳

再起のきっかけとなる銀メダル獲得



■ スタッフ

役職	名前	所属
チームリーダー	小栗 弘	JBA
ヘッドコーチ	コーリー・ゲインズ	JBA
アシスタントコーチ	宮田 知己	JBA
アナライジングコーチ	伊藤 恭子	デンソー アイリス
通訳	下條 海	JBA
スポーツパフォーマンスコーチ	臼井 智洋	JBA
アスレティックトレーナー	荻野 まゆみ	JBA
アスレティックトレーナー	小川 未央	JBA
チームマネージャー	古海 五月	JBA
チームマネージャー	小松 佳緒里	ENEOSサンフラワーズ
テクニカルスタッフ	有賀 早希	富士通 レッドウェーブ
ドクター	小松 孝行	順天堂大学医学部スポーツ医学研究室

ポジション(P)表記: PG=ポイントガード, SG=シューティングガード, SF=スモールフォワード, PF=パワーフォワード, C=センター ※身長はcm ※年齢・所属は2025年7月7日現在

大会6連覇が懸かったFIBA女子アジアカップ2025は、パリ2024オリンピックを経て立て直しを図る女子日本代表にとって新たな船出の舞台。コーリー・ゲインズHCの下、新チームは中国との準決勝を含め連日の接戦を勝ち切って銀メダルにたどり着いた。はつらつとしたプレーでチームを鼓舞した田中こころは、オールスターファイブに選出された。

最終順位	試合結果	
1位 オーストラリア	グループフェーズ(グループB)	
2位 日本	7月13日	日本72-68レバノン
3位 中国	7月14日	フィリピン82-85日本
4位 韓国	7月15日	日本67-79オーストラリア
	日本は2勝1敗のグループB2位で準決勝進出決定戦へ	
	7月18日	準決勝進出決定戦 日本77-62ニュージーランド
	7月19日	準決勝 中国81-90日本
	7月20日	決勝 オーストラリア88-79日本

■ 選手

#	名前	P	身長	年齢	所属
2	今野 紀花	SG	179	25歳	デンソー アイリス
3	馬瓜 ステファニー	SF	182	26歳	CASADEMONT ZARAGOZA
4	川井 麻衣	PG	171	29歳	デンソー アイリス
8	高田 真希	PF	185	35歳	デンソー アイリス
10	渡嘉敷 来夢	C	193	34歳	アイシン ウィングス
26	田中 こころ	PG	172	19歳	ENEOSサンフラワーズ
37	薮 未奈海	SF/SG	178	20歳	デンソー アイリス
52	宮澤 夕貴	PF	183	32歳	富士通 レッドウェーブ
59	星 杏璃	SG	171	25歳	ENEOSサンフラワーズ
75	東藤 なな子	SG/PG	175	24歳	トヨタ紡織サンシャインラビッツ
77	栗林 未和	C	188	26歳	東京羽田ヴィッキーズ
99	オコエ 桃仁花	PF	183	26歳	ENEOSサンフラワーズ

FIBA U16女子アジアカップ2025

2025年9月22日～28日／マレーシア・スレンパン

堂々の銅メダル! 竹内みやがMVPに

日本は準決勝でニュージーランドに競り負け3位決定戦に回ったが、最後は中国に勝利して堂々の銅メダルフィニッシュ。大会1位の平均19.4得点を記録した竹内みや(桜花学園 高2年)は、みごとMVPに輝いた。



最終順位	試合結果	
1位 オーストラリア	グループフェーズ(グループB)	
2位 ニュージーランド	9月22日	日本132-31シリア
3位 日本	9月23日	中国57-78日本
4位 中国	9月24日	日本76-72ニュージーランド
	日本は3勝のグループB1位で準決勝へ	
	9月27日	準決勝 日本64-68ニュージーランド
	9月28日	3位決定戦 中国58-71日本



FIBA U19女子ワールドカップ2025

2025年7月12日～20日／チェコ・ブルノ

4大会ぶりの4強入りならず6位に

スペイン、カナダ、フランスと近年のトップ10をにぎわす強豪国に勝ち切れなかった日本。4大会ぶりのベスト4進出はならなかったが、チェコとアルゼンチン、5-8位決定戦でハンガリーに勝利して6位で大会を終えた。



最終順位	試合結果	
1位 アメリカ	グループフェーズ(グループD)	
2位 オーストラリア	7月13日	チェコ50-65日本
3位 スペイン	7月14日	日本54-69スペイン
4位 カナダ	7月16日	日本83-44アルゼンチン
6位 日本	日本は2勝1敗のグループD2位で準々決勝へ	
	7月18日	準々決勝 カナダ85-65日本
	7月19日	5-8位決定戦 ハンガリー76-78日本
	7月20日	5位決定戦 フランス76-64日本

FISUワールドユニバーシティゲームズ2025

7月16日～27日／ドイツ・ライプツィヒ

価値ある5位入賞

前回大会を含め過去に2度銀メダル獲得に成功している日本。ヨーロッパ勢を中心に各国のレベルアップが著しい中での5位は健闘と言っているだろう。世界レベルの育成を加速させる経験となったはずだ。

最終順位	試合結果	
1位 中国	グループフェーズ(グループC)	
2位 アメリカ	7月18日	リトアニア83-101日本
3位 ハンガリー	7月19日	ブラジル63-86日本
4位 ポーランド	7月20日	ハンガリー79-71日本
5位 日本	日本は2勝1敗のグループC2位で準々決勝へ	
	7月22日	準々決勝 日本70-75中国
	7月23日	5-8位決定戦 チェコ77-84日本
	7月25日	5位決定戦 ポルトガル47-71日本

FIBA 3x3 アジアカップ2025

2025年3月26日～30日／シンガポール

初選出の4人で
史上最高成績となる銀メダル!

Wリーグプレーヤーがいない、全員初選出の4人で臨んだFIBA 3x3 アジアカップ2025は、あらゆる意味で大きな挑戦だった。しかし日本は順調に勝ち進み、初の銀メダル獲得に成功した。オフェンスの中心としてチームをけん引した高橋美由子は、平均7.8得点で大会1位。女子3x3 界全体に勢いをもたらず輝かしい成績だった。



■ スタッフ

役職	名前	所属	備考
ヘッドコーチ	前田 有香	JBA	WC
コーチ	伊集 南	株式会社デンソー	AC
アスレティックトレーナー	岡本 香織	JBA	
アスレティックトレーナー	村木 亮子	JIN整形外科スポーツクリニック	
チームマネージャー	稲葉 一政	JBA	
サポートスタッフ	佐藤 博翔	桐蔭横浜大学	AC
サポートスタッフ	仲上 真央	早稲田大学	
サポートスタッフ	エルマコーラ 未亜	日本体育大学	AC
サポートスタッフ	川崎 碧斗	中京大学	WC
サポートスタッフ	伊地知 さら	日本体育大学	WC

※AC＝アジアカップのみ登録/WC＝ワールドカップのみ登録

■ 選手

#	名前	身長	年齢	所属
3	高橋 美由子	163	30歳	FLOWLISH GUNMA
5	鶴見 彩	165	32歳	MAURICE LACROIX
10	西 ファトゥマ七南	175	21歳	早稲田大学
12	野口 佑季	173	28歳	boldiies

※年齢・所属は2025年3月12日現在

最終順位	試合結果
1位 オーストラリア	グループフェーズ(プールC)
2位 日本	3月28日 日本22-6シンガポール
3位 中国	日本17-10ベトナム
4位 フィリピン	日本は2勝のプールC1位で準々決勝へ
	3月30日 準々決勝 日本21-11韓国
	準決勝 フィリピン9-22日本
	決勝 オーストラリア21-17日本

FIBA 3x3 ワールドカップ2025

2025年6月23日～29日／モンゴル・ウランバートル

強豪オランダを倒し
過去最高成績タイの9位に

今大会での日本は、最終的に王座に就くオランダとの初戦にノックアウト勝ちするなど、過去最高成績に並ぶ9位という最終順位以上に大きな成果をつかむことができた。高橋美由子以外の3人と鶴見彩というメンバーで直前に出場したFIBA 3x3 ウィメンズシリーズのジャカルタストップでも初優勝。世界を驚かせる戦いぶりだった。

最終順位	試合結果
1位 オランダ	グループフェーズ(プールB)
2位 モンゴル	6月24日 オランダ16-21日本
3位 カナダ	日本21-12チリ
4位 ポーランド	6月26日 日本8-21アメリカ
9位 日本	チェコ18-21日本
	日本は3勝1敗のプールB2位で準々決勝進出決定戦へ
	6月27日 準々決勝進出決定戦 日本6-18カナダ

■ 選手

#	名前	身長	年齢	所属
3	高橋 美由子	163	30歳	FLOWLISH GUNMA
7	高橋 未来	169	24歳	アイシン ウィングス
18	宮下 希保	178	26歳	富士通 レッドウェーブ
25	桂 葵	182	32歳	トヨタ紡織 サンシャインラビッツ/ZOOS

※年齢・所属は2025年6月11日現在



FIBA 3x3 U23ワールドカップ2025

2025年9月17日～21日／中国・雄安

今後につながるベスト4進出



グループフェーズを無傷の4連勝で乗り切った日本は、準々決勝でもポーランドに快勝。準決勝で最終的に王座に就くオランダとの接戦を落とし、続く3位決定戦でもスペインの前に力尽きたことで、金メダルを獲得した2019年以来のメダル獲得に至らなかったのは悔しいが、6年ぶりのベスト4進出は高く評価できる成果だ。

最終順位	試合結果
1位 オランダ	グループフェーズ(プールA)
2位 フランス	9月17日 日本22-11エジプト
3位 スペイン	チャイニーズタイペイ18-20日本
4位 日本	9月19日 日本20-19中国
	イタリア18-19日本
	日本は4勝の1位で準々決勝へ
	9月21日 準々決勝 日本17-11ポーランド
	準決勝 日本18-20オランダ
	3位決定戦 日本12-18スペイン

皇后杯

EMPRESS'S CUP
BASKETBALL 2025-26

第92回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会

—— ファイナルラウンド ——

大会概要

主催	公益財団法人日本バスケットボール協会
共催	共同通信社
主管	公益財団法人日本バスケットボール協会
後援	NHK
協賛	三井不動産株式会社 ジョーダン ブランド 株式会社モルテン 三井住友信託銀行株式会社 ソフトバンク株式会社
日程	2026年1月5日(月)～11日(日) ※7日(水)、10日(土)はレステデー
会場	国立代々木競技場第一体育館・第二体育館・駒沢体育館
大会方式	トーナメント戦によるノックアウト方式とする。
組み合わせ	大会実施委員会の責任抽選にて、対戦を確定するものとする。
競技規則	開催時における最新のバスケットボール競技規則で実施する。 ※現状においては「2025/バスケットボール競技規則 (Official Basketball Rules 2024)」を最新とする。

出場資格(チーム)

2025年度において当該都道府県の下記カテゴリー・チーム区分にチーム登録されているチーム(JBA登録区分に基づく)であること。
・一般(I種)カテゴリー
・U18カテゴリー

ファイナルラウンド出場チーム数

・ブロック代表枠
原則、当該年度の11月までにブロックラウンド(9ブロック)を開催し、各ブロック1枠ずつ
・社会人推薦枠
前シーズンの成績(高松宮記念杯 全日本社会人バスケットボールプレミアムチャンピオンシップ優勝・準優勝チーム)に1枠ずつ
・大学推薦枠
前年度の全日本大学バスケットボール選手権大会優勝チームが所属する地区の当該年度の選手権大会(春季大会)上位3チームに1枠ずつ
・トップリーグ推薦枠(Wリーグ)
前シーズンの成績を基にWプレミア：8枠、Wフューチャー：2枠

参加資格

- 2025年度においてJBAに選手登録された選手であること。
- 外国人選手は、JBA基本規程第110条に基づいて登録された選手であること。
- 帰化選手は満16歳となった後に国籍法に基づく帰化によって日本国籍を取得した選手であること。

チーム編成

- チーム編成はスタッフ9名以内、選手16名以内の計25名以内とする。
- ベンチで指揮を執るコーチはJBAが定めるコーチライセンスの適用基準において必要な資格を保有していること。
- 選手は、大会申し込み時に選択(エントリー)したチームのみに出場できる。
※ファーストラウンド(都道府県ラウンド)で選手登録をしたチームでのみ出場ができる。
※ラウンド毎に選手登録するチームが変わることは不可とする。(同ラウンド中も変更は不可)
- 選手登録および大会エントリーができる外国籍選手数は、1チーム合計2名までとし、帰化選手は、外国籍選手とは別に1名まで選手登録できる。また、試合中同時にコート上でプレーできる外国籍選手数は、試合を通して1チーム合計1名までとする。帰化選手は、試合を通してコート上でプレーできる人数は1名までとし、常時、外国籍選手1名と同時にプレーすることができる。延長時間においても同様に扱う。

C O N T E N T S

- 3 ごあいさつ
- 5 天皇杯・皇后杯について
- 7 皇后杯2025-26 ファイナルラウンド展望
- 11 ファイナルラウンド 組み合わせ

+出場チーム紹介

- 12 アイシン ウィングス
- 13 福岡大学附属若葉高等学校
- 14 北翔大学
- 15 東京医療保健大学
- 16 滋賀銀行LakeVenus
- 17 デンソー アイリス
- 18 富士通 レッドウェーブ
- 19 福井工業大学附属福井高等学校
- 20 白鷲大学
- 21 東京羽田ヴィッキーズ
- 22 今治オレンジブロッサム
- 23 トヨタ紡織 サンシャインラビッツ
- 24 シャンソン化粧品 シャンソンVマジック
- 25 四日市メリノール学院高等学校
- 26 山形銀行
- 27 山梨学院大学
- 28 笠戸ブレイブスター
- 29 トヨタ自動車 アンテロープス
- 30 日立ハイテク クーガーズ
- 31 江戸川大学
- 32 ミツウロコ
- 33 三菱電機 コアラーズ
- 34 秋田銀行
- 35 ENEOSサンフラワーズ

+大会記録

- 36 皇后杯 過去の大会記録
- 41 年次記録
- 44 AKATSUKI JAPAN 女子日本代表活動レポート

※本プログラムに掲載のWリーグの成績データは特別な記載のない場合、2025年12月7日時点のものとなります。

発行元 公益財団法人日本バスケットボール協会(JBA)
〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-27 後楽鹿島ビル6階
TEL(03)4415-2020
編集者 天皇杯・皇后杯 大会実施委員会
発行日 2026年1月5日
制作 月刊バスケットボール
デザイン 目録舎
写真 JBA / W LEAGUE / 月刊バスケットボール

天皇杯 皇后杯

EMPEROR'S CUP AND EMPRESS'S CUP
BASKETBALL 2025-26

第101回天皇杯・第92回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会 オフィシャルグッズ

公式オンラインストアにて販売中!!



Tシャツ
¥3,900



ロングTシャツ
¥4,900



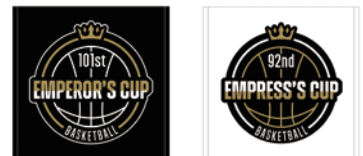
フーディ
¥6,900



マフラータオル
¥2,500



フェイスタオル
¥2,200



ハンドタオル
¥1,300



ベアキーチェーン
¥2,300



アクリルキーホルダー
¥800



エコバック
¥2,000



缶バッチ 2 個セット
¥900

店舗限定



おこげ煎餅入り巾着
¥1,300

店舗限定



プリントクッキー
¥1,200

オフィシャルグッズ
特設ページはこちら



JBA
JAPAN BASKETBALL ASSOCIATION

OFFICIAL STORE

A Fanatics Experience

※画像はイメージです ※販売方法やお届け時期は、各商品ページをご確認ください ※価格は全て税込みです ※販売状況により品切れの場合がございます

環境を守る スポーツを守る 未来を守る TEAM JAPAN!

来たときよりもきれいに！



公益財団法人日本オリンピック委員会
Japanese Olympic Committee